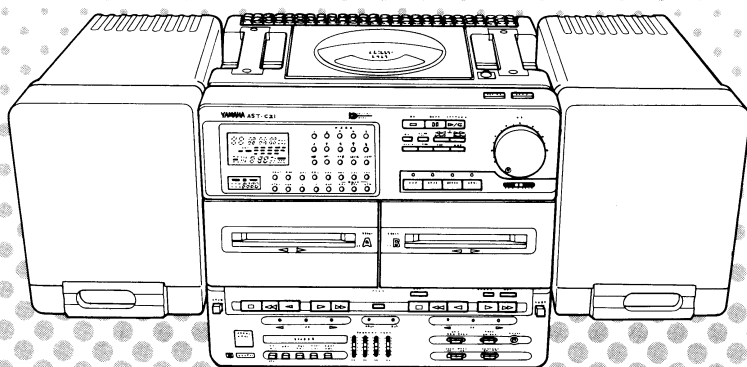




NATURAL SOUND COMPACT COMPONENT SYSTEM

AST-C21

取扱説明書



このたびは、ヤマハ・コンパクトコンポーネントシステムAST-C21をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。
AST-C21の性能を十分に発揮させると共に、未永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
なお、お読みになった後は保証書と共に大切に保管してください。

YAMAHA

Active Servo Technology システムとは

Active Servo Technology システムは、スピーカユニットの動作を直接制御して、駆動力や制御力を大幅に向上させるアクティブサーボプロセッシングアンプと、特殊なチューニングを施したエンクロージャーをもつアクティブサーボプロセッシングスピーカーにより、コンパクトなサイズからは想像できない程の豊かな低域とフラットな再生特性を実現した全く新しいシステムです。

特長

●新開発Active Servo Technologyシステム

ヤマハの新開発Active Servo Technologyシステムを搭載。小型スピーカーによる、フラットな超低音再生を実現しました。

●大出力パワーアンプ

35W+35Wの大出力パワーアンプを搭載。ハイパワーとActive Servo Technologyシステムから生まれるサウンドは、コンパクトなボディからは想像できない程の迫力と、ミュージックソースのニュアンスを徹底的に再現します。

●30局メモリーのデジタルチューナー

FM、AM、TV (VHF、UHF) 放送をそれぞれ10局、合計30局のプリセット予約ができ、リモコンによるダイレクト選局が可能な、高性能デジタルシンセサイザーチューナーを搭載しました。

●多彩な演奏が楽しめるCDプレーヤー

プログラム演奏、スキップ、サーチ、イントロスキャン、リピートなど、8cmシングルディスクにも対応する多機能CDプレーヤーを搭載。さらに、20曲ミュージックカレンダーやダイレクト選曲等、CDを存分にお楽しみいただけます。

●CDのテープ録音に オートエディット機能を搭載

CDをテープ録音する際、テープのA面とB面に曲をランダムに振り分けるオートエディット機能を搭載。テープの余白を最小限に抑え、曲の途中での音切れやテープのムダをなくし、CDからテープへのダビングが手軽に楽しめます。

●ドルビーB、C搭載のオートリバース・ ダブルカセットデッキ

フルロジックコントロール、再生/録・再生オートリバースダブルデッキを搭載。さらに、ドルビーB、CタイプNRを内蔵し高SN比を得ています。また、CDリプレイ録音やイコライザー録音も可能です。

●快適操作のリモコン標準装備

10キーによるチューナーやCDのワンタッチ選局/選曲、さらにテープデッキやインプットセレクター操作を始め、電源のON、OFFや電動ボリュームによる音量調整など、快適多機能リモコンを標準装備しています。

●臨場感を再現するサウンドモード

コンサートホールの豊かな響きや、ライブハウスのホットな臨場感などをプリセットした、3つのサウンドモード。さらに4バンドグラフィックイコライザーにより、多彩な音色をお楽しみいただけます。

●新感覚のニューデザイン

コックピットを連想させるメインユニットと、ユニークなスピーカーとのコンビは、操作や聴く楽しみの他に、眺める楽しさも感じさせる新感覚ニューデザインのシステムです。

目次

主な操作手順 3

1 ご使用になる前に 5

使用上のご注意 5

2 接続のしかた 6

付属品を確認してください 6

アンテナの接続 6

スピーカーの取り付けと取り外しかた 7

スピーカーシステムの接続 7

外部機器の接続 8

電源コードの接続 8

3 各部の名称とはたらき 9

テレビ/ラジオおよびアンブ部 9

タイマー部 10

CDプレーヤー部 11

カセットデッキ部 12

リアパネル部 13

停電すると 13

4 音量や音質を調整するには 14

リモコンによる音量調整 14

音量を調整するには 14

音質を調整するには(サウンドモード) 14

ヘッドホンで聞くには 14

5 リモコンの使い方 15

リモコンを使う前に 15

リモコンの操作 15

リモコンについてのご注意 16

6 ラジオ放送や

テレビ音声を聞くには 17

オート(自動)選局のしかた 17

プリセット選局のしかた 19

プログラムのしかた 19

プリセット選局のしかた 21

FMステレオ放送を聞くには 22

テレビの音声多重放送を聞くには 22

7 CDを演奏するには 23

演奏と基本操作 23

聞きたい曲を聞きたい順に記憶させて聞く(プログラム演奏) 25

曲を早聞きしながら聞きたいところを探すには(サーチ選曲) 27

聞きたい曲の頭から聞く(スキップ選曲) 27

聞きたい曲から聞く(ダイレクト選曲) 28

繰り返して聞く(リピート演奏) 28

名曲のイントロを自動的に聞くには(イントロ演奏) 29

イントロ演奏しながら

プログラム選曲するには(イントロプログラム選曲) 29

ディスプレイの表示について 30

8 テープの再生 31

テープの再生 31

ノイズリダクションについて 31

曲の頭出しをするには(頭出し再生) 33

テープを早く巻き取るには 33

走行モードと連続再生のしかた 34

9 録音のしかた 35

テレビまたはFM/AM放送の録音 35

無録音スペースボタンについて 35

CDから録音するには 37

CDリプレイ録音について 37

オートエディット機能について 37

外部機器の録音 39

イコライザー録音について 40

10 テープ編集

(ダビング)のしかた 41

テープ編集(ダビングのしかた) 41

録音用と再生用に、長さの違うテープを使うと 41

テープ Aとテープ Bに違う種類のテープを入れると 41

11 タイマーの使い方 43

現在時刻のセット 43

スリープタイマー 44

目覚し再生(タイマー演奏)や留守録音のしかた 45

12 ご参考に 47

CD(コンパクトディスク)の取り扱いかた 47

カセットテープについて 48

デッキ部のお手入れ 48

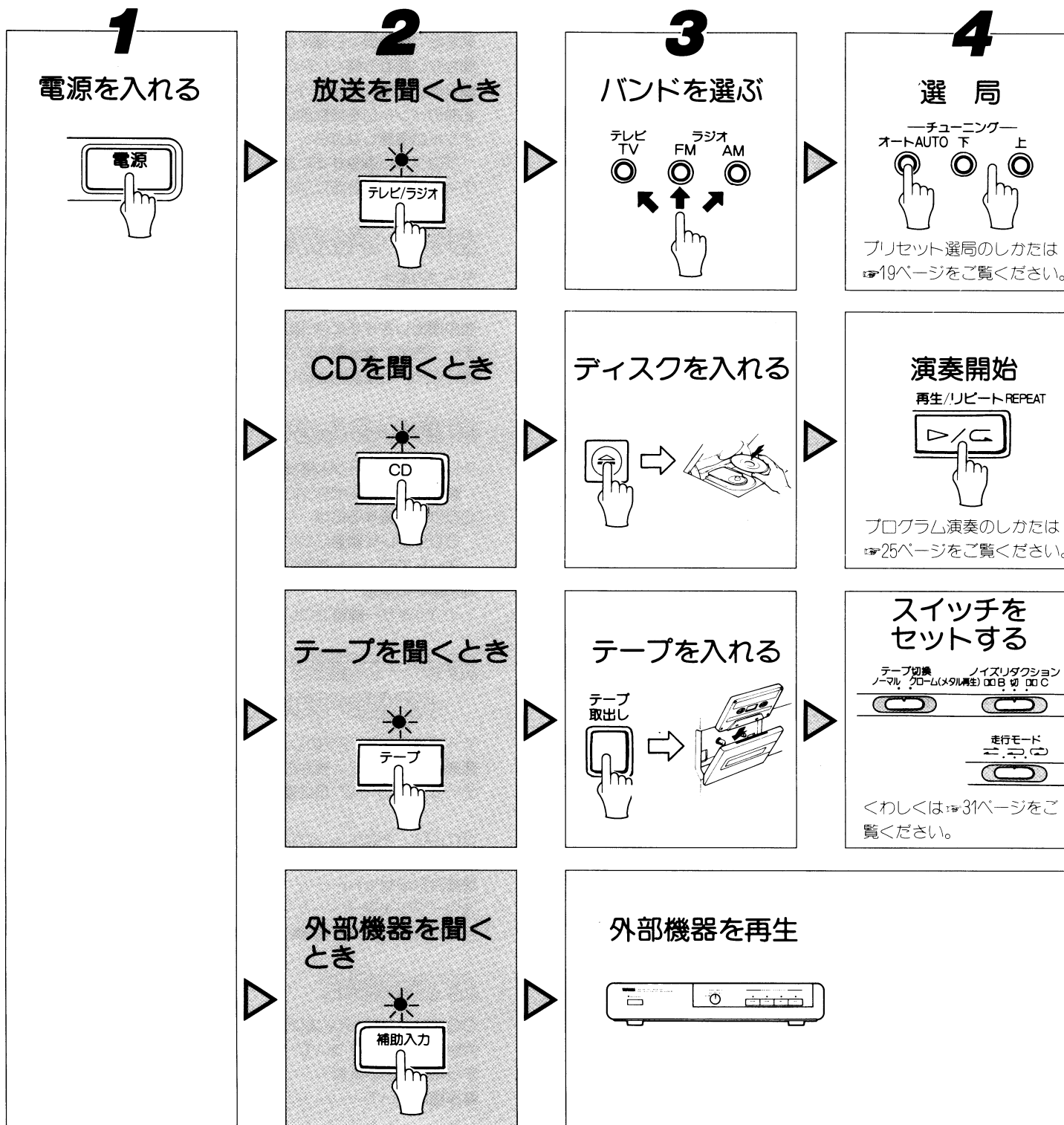
著作権について 48

13 故障かなと思ったら 49

参考仕様 50

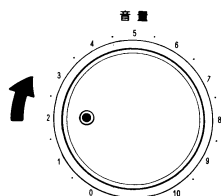
ヤマハホットラインサービスネットワーク 51

主な操作手順



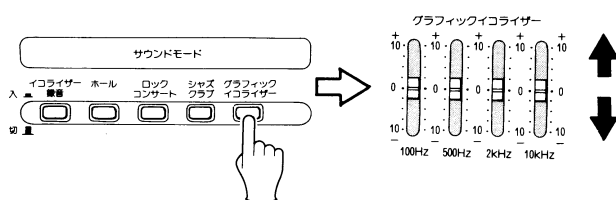
6

音量を調整



7

音質を調整



3

(テープ) (放送) (CD)

タイマー
セットスイッチ

1 6 2

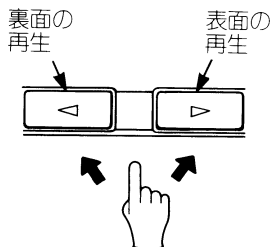
4

(CD)
(放送)
(テープ)

7 5

5

再生開始

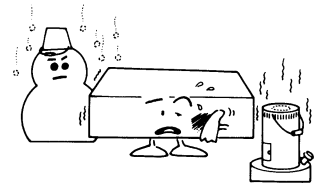
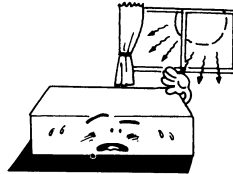


ご使用になる前に

使用上のご注意

高温・低温はさけて！

- 次のような場所への設置はさけてください。
- 温度の極端に高い場所（周囲温度40℃以上）
窓際や直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど。
 - 温度の極端に低い場所（周囲温度-5℃以下）
 - 湿度の高い場所（湿度90%以上）

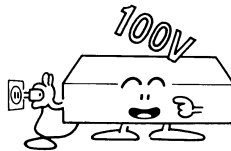


不安定な場所をさけて！

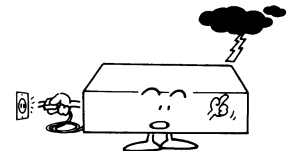


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V専用



雷が近づいたら



早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

薬物厳禁

ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色することがあります。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかな布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないよう、ご注意ください。



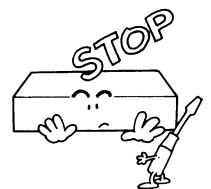
ほこり・水気をさけて！

ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。



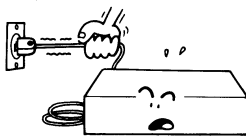
ケースを開けないで！

内部に手を入れると危険です。ケースは開けないでください。

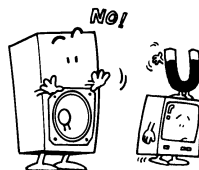


引っぱらないで！

電源コード・ピンコードを抜くときは、コードを引っぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。

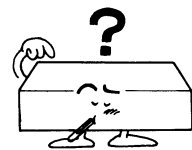


磁気・テレビはさけて！



50ページの「防磁型スピーカーについて」をご覧ください。

こわれた？



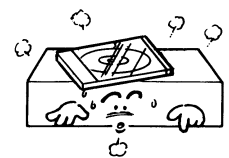
49ページの「故障かと思ったら」をご覧ください。

保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

セット上面の通風孔をふさがない

放熱を妨げないよう、セット上面の通風孔の上に敷き物や、コンパクトディスクなどを絶対に置かないでください。また、リアパネル側の放熱板は熱くなりますので、壁から3cm以上離しておいてください。



2 接続のしかた

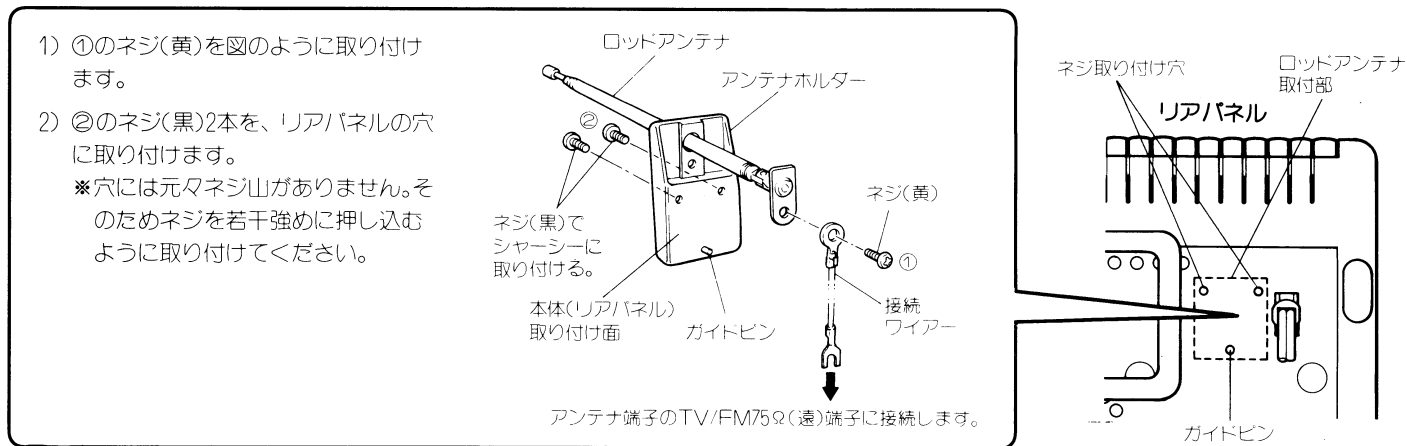
■アンテナの接続

1. ロッドアンテナの取り付けと接続のしかた

図の様にアンテナホルダー、ロッドアンテナ、接続ワイヤーを組み立ててリアパネルにネジで固定し、接続ワイヤーの片側をアンテナ端子のTV/FM75Ω(遠)端子に接続します。

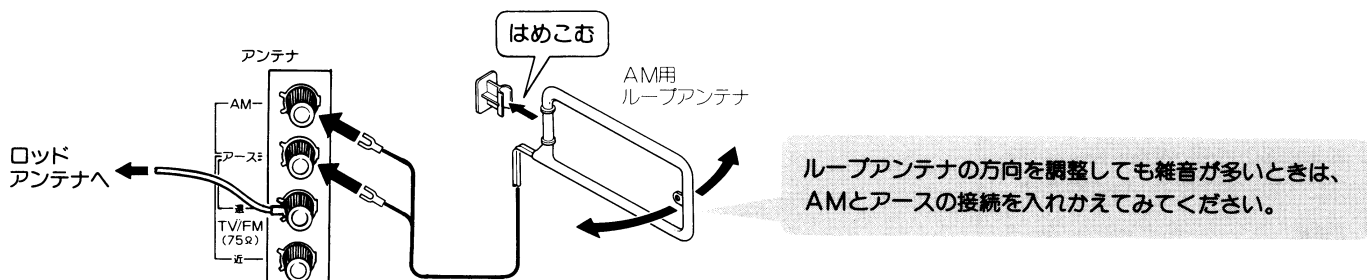
付属品を確認してください

- リモコン 1台
- 単4乾電池(UM-4/R03) 2本
- ループアンテナ 1個
- ロッドアンテナ 1本
- アンテナホルダー 1個
- ネジ(ロッドアンテナおよびアンテナホルダー取付け用) 3本
- ロッドアンテナ接続ワイヤー 1本
- スピーカーコード(コネクター付き) 2本
- スピーカー取付金具 2個
- スピーカー取付ネジ 4本



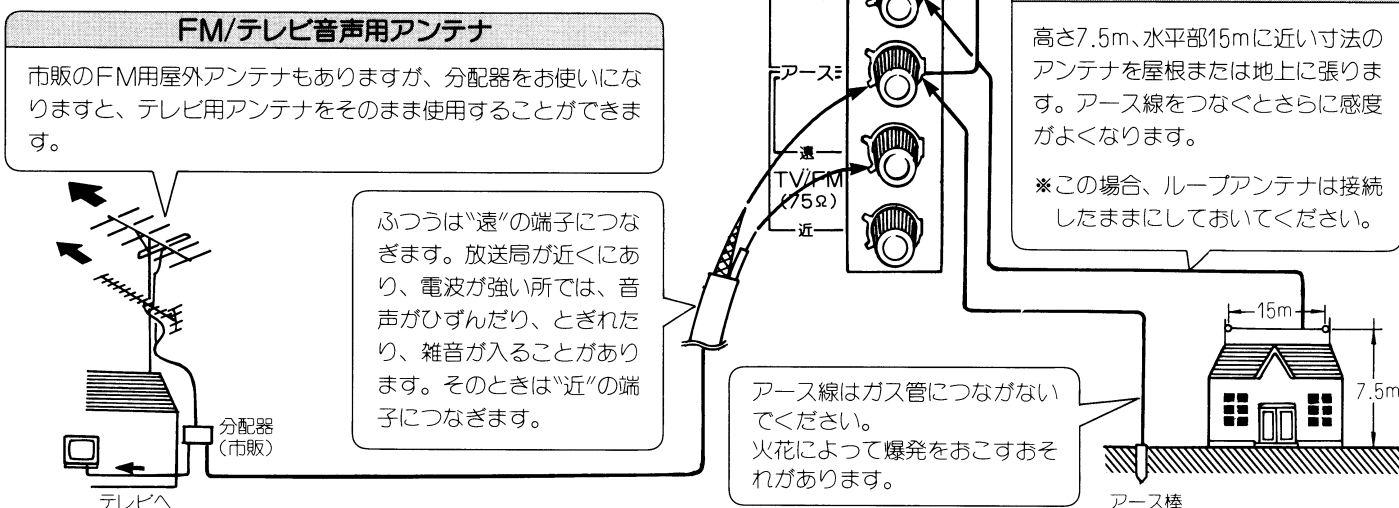
2. AM用ループアンテナの接続

付属のループアンテナをリアパネルに取り付け、アンテナ線をAMおよびアース端子に接続します。



3. 屋外アンテナのつなぎかた

付属のアンテナでラジオ放送やテレビ音声がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを使います。(屋外アンテナの設置や接続方法については、販売店におたずねください。)

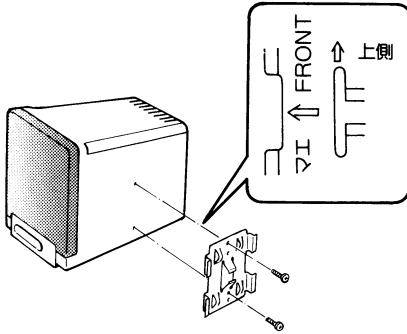


接続のしかた

■スピーカーの取り付けと取り外しかた

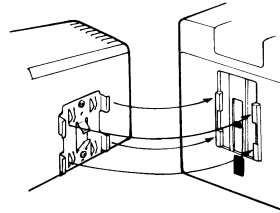
取り付けかた

1. スピーカーに付属の取り付け金具を図のように2本のネジで固定します。

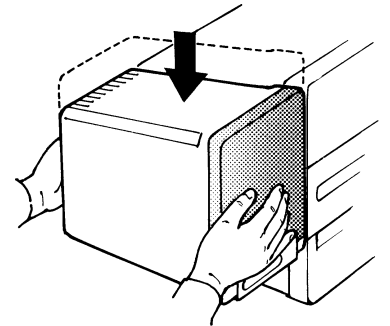


2. スピーカーの取り付け金具を本体側面のみぞに合わせます。

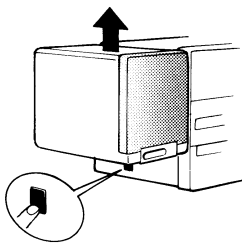
- スピーカーの下側の金具を本体のみぞに合わせてから、上側の金具を確実に合わせてください。



3. スピーカーを下に下げると「カチツ」と音がして固定されます。



はずしかた



本体側面のボタンを指で押しながらスピーカーを上げるとはずれます。

ご注意：スピーカーをぶつけたり、落しなさないよう、ご注意ください。

■スピーカーシステムの接続

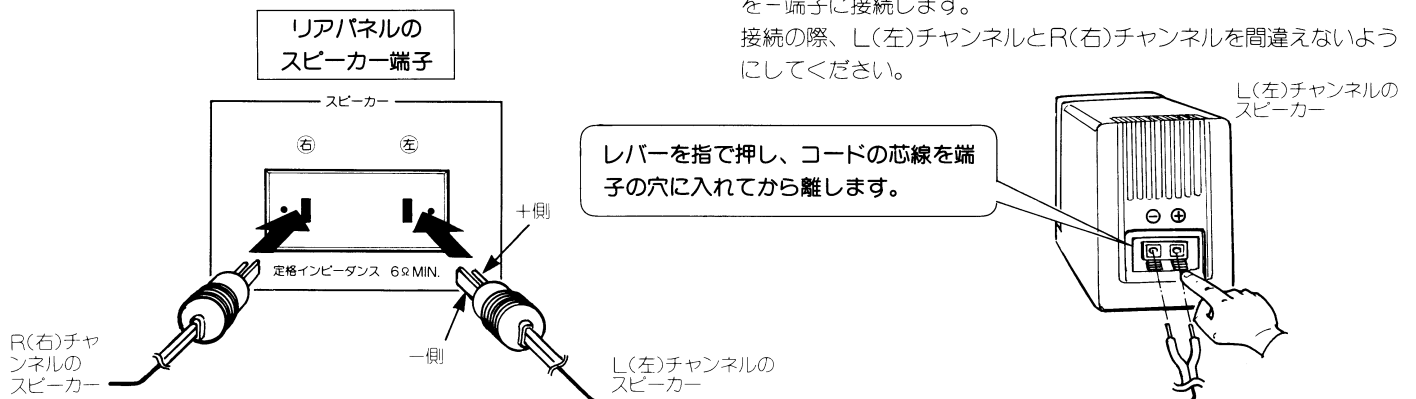
ご注意

本機は、Active Servo Technologyシステムを搭載しているため、従来のスピーカーシステムとの接続はできません。

スピーカーと、リアパネルのスピーカー端子を付属のスピーカーコードで接続します。

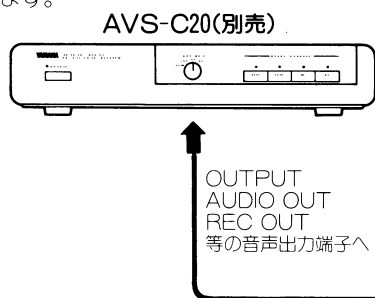
付属のスピーカーコードのコネクタをリアパネルのスピーカー端子へ、片方の白線側をスピーカーシステムの+端子、白線のない方を-端子に接続します。

接続の際、L(左)チャンネルとR(右)チャンネルを間違えないようにしてください。

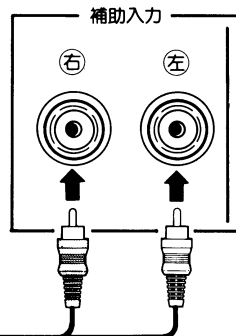


■外部機器の接続

- ヤマハAVセレクターAVS-C20(別売)の出力端子または他のAV機器の出力端子(OUTPUT端子のあるラジカセや、ビデオデッキのAUDIO OUT端子等)と、本機の補助入力端子をピンプラグコードで接続します。

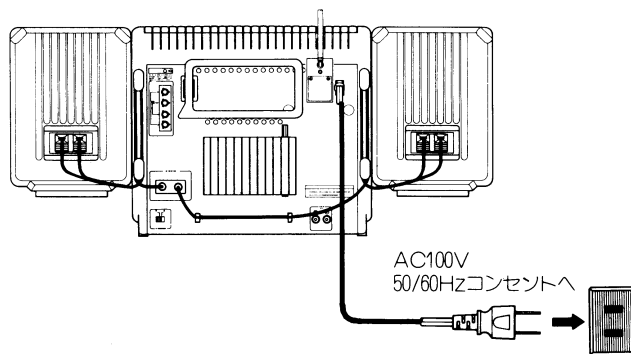


- 接続する前に、各機器の電源は必ず切っておいてください。
- L(左)チャンネルとR(右)チャンネルを間違えないで接続してください。



■電源コードの接続

必ず、AC100V、50/60Hzの電源コンセントへ接続してください。



結露現象について

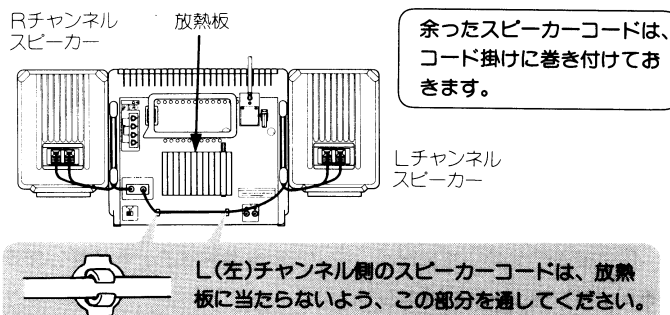
冬期に本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、CDプレーヤーの動作部やピックアップレンズに露が付くことがあります。露が付いたままでは正常な動作ができませんので、そのようなときは、本機を室温に保ち、電源をいれたまま1~2時間放置し、露が消

えてから操作してください。結露と同じ症状は夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合は本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてください。

■屋外アンテナを立てる場所について

- 放送局の送信アンテナがある方向に立ってます。
- ビルや山のかけなど、送信アンテナが見えない所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路からはなれた所、またはそれが見えない所に立てるようにします。
- 送電線の下には立ってないでください。高圧線がアンテナに触れると大変危険です。
- 落雷のおそれがありますのであまり高い所には立ってないでください。

■余ったスピーカーコードは

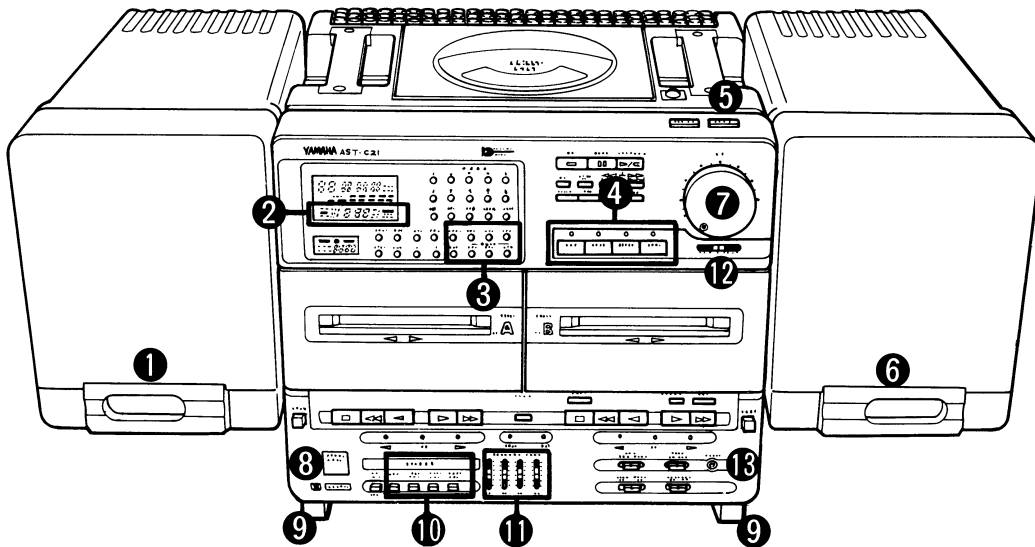


3

各部の名称とはたらき

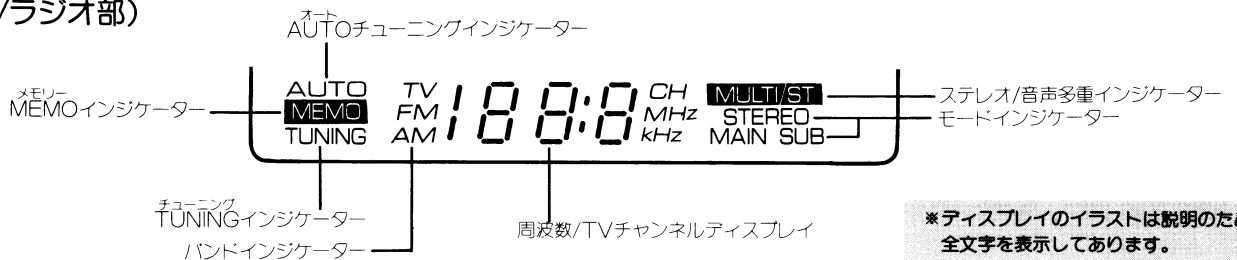
■テレビ/ラジオおよびアンプ部

●ディスプレイは、操作に応じてその状態を表示します。



- | | | |
|--|---|----------------------|
| ①スピーカーシステム：L(左)チャンネル | ④ <small>オート</small> チューニングボタン
チューニング(上, 下)ボタン | ⑥スピーカーシステム：R(右)チャンネル |
| ②ディスプレイ(チューナー部) | ⑤電源スイッチ | ⑦音量ツマミ/インジケータ |
| ③選局ボタン
エフエム FM モノ/ステレオ
テレビ TVボタン
エフエム FM ボタン
エーエム AM ボタン
メモリー MEMOボタン | ⑧リモコン受光部 | ⑧リモコン受光部 |
| | ⑨可倒式レッグ | ⑨可倒式レッグ |
| | ⑩サウンドモードボタン | ⑩サウンドモードボタン |
| | ⑪グラフィックイコライザーツマミ | ⑪グラフィックイコライザーツマミ |
| | ⑫バランスコントロールツマミ | ⑫バランスコントロールツマミ |
| | ⑬ヘッドホンジャック | ⑬ヘッドホンジャック |

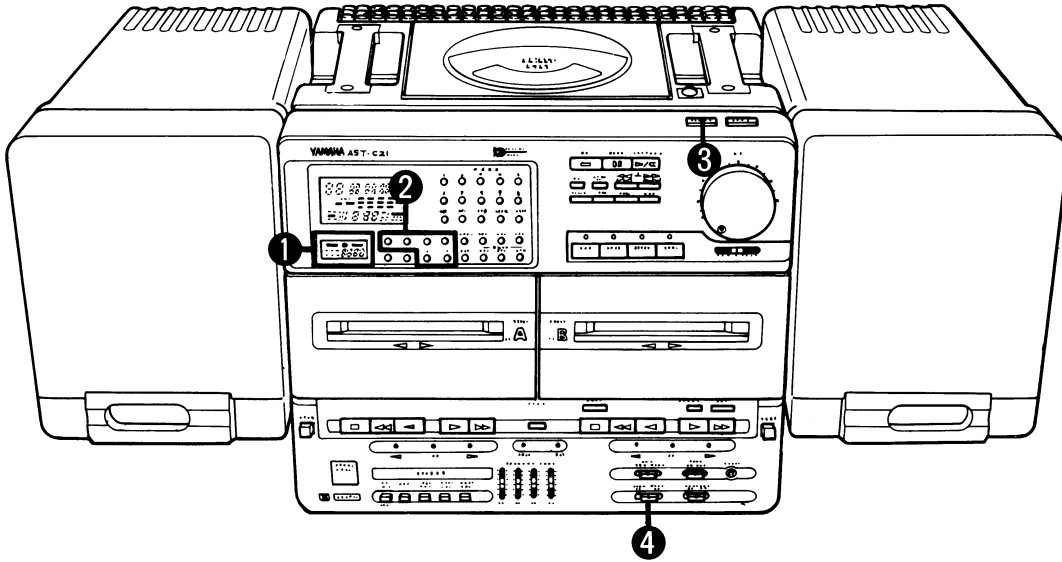
ディスプレイ (テレビ/ラジオ部)



※ディスプレイのイラストは説明のため、
全文字を表示してあります。

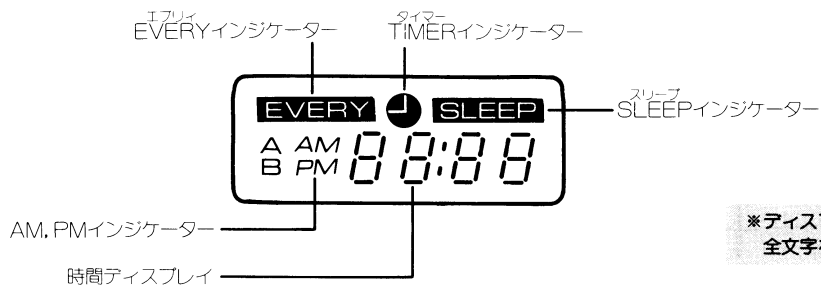
- 電源スイッチ
押すと電源が入り、もう1度押すと電源が切れます。
- インプットセレクター/インジケータ
CD、テレビ/ラジオ、テープ、補助入力の入力ソースを選択します。ボタンを押すとインジケータが点灯します。
- バンド(TV, FM, AM)ボタン
テレビまたはFM、AMの放送/バンドを選択するときに押します。
- FMモノ/ステレオボタン
FM放送のステレオまたは、モノラルを選択するときに押します。
- オート チューニングボタン
このボタンを押してからチューニング上, 下ボタンを押すと、自動的に選局を始めます。
- チューニング上, 下ボタン
放送を選局するとき、上または下を押します。
- MEMOボタン
受信した放送局を記憶させるときに押します。
- バランスコントロールツマミ
L(左)チャンネルとR(右)チャンネルの音量バランスを調整します。通常は中央(0)にセットしておきます。
- サウンドモードボタン
音楽ソースに合わせ、ホール、ロックコンサート、ジャズクラブの3種類のプリセットプログラムが選べます。グラフィックイコライザーボタンを押すと、4バンドグラフィックイコライザーのマニュアル調整ができます。

■タイマー部



- ①ディスプレイ(タイマー部)
- ②タイマーセットボタン
毎日予約EVERYボタン
予約ボタン
おやすみSLEEPボタン
時計ボタン
- 時ボタン
分ボタン
- ③タイマーセットスイッチ
- ④タイマーモードスイッチ

ディスプレイ (タイマー部)



※ディスプレイのイラストは説明のため、
全文字を表示してあります。

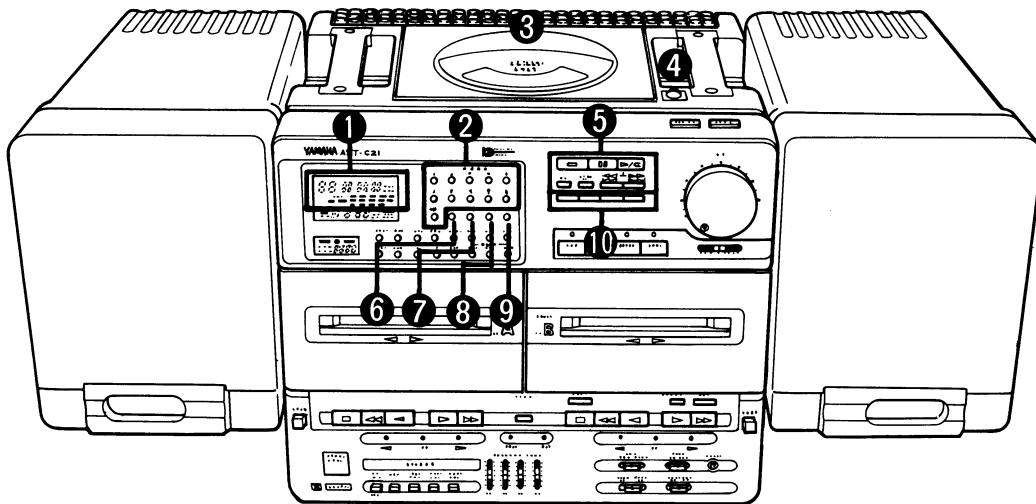
- 予約ボタン
このボタンを押したまま時または分ボタンを押して、タイマーのON時刻をセットします。
- おやすみSLEEPボタン
このボタンを押したまま時または分ボタンを押して、スリープ時刻をセットします。

- 時計ボタン
このボタンを押したまま時または分ボタンを押して、現在時刻をセットします。また、テープのカウンター表示を現在時刻表示に変えるときに押します。
- 毎日予約EVERYボタン
このボタンを押してEVERYインジケータが点灯すると、セットした時刻でタイマーがON、2時間後にOFFの動作を毎日繰り返します。

確認するには……

- タイマーのON時刻を確認したいときは、予約ボタンを押します。
- スリープ時間を確認したいときは、おやすみSLEEPボタンを押します。

■ CDプレーヤー部

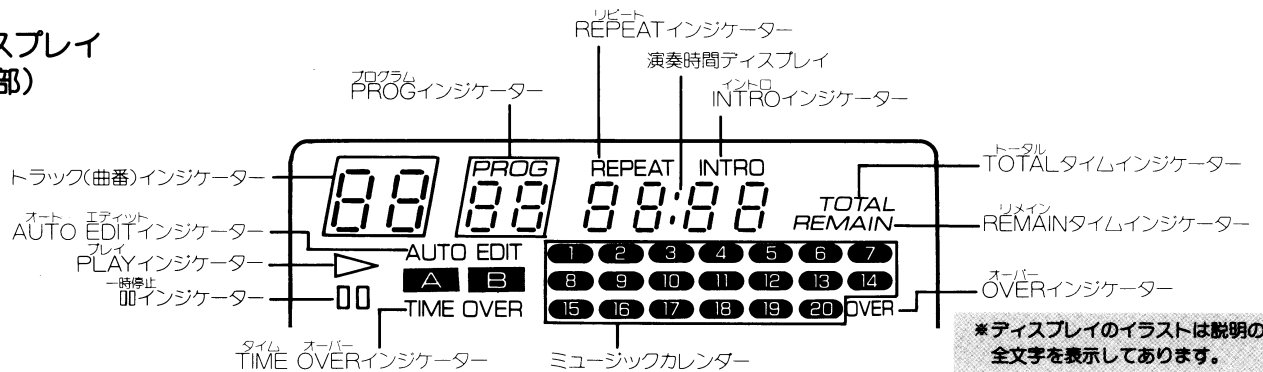


- ① シーアイ CD ディスプレイ
- ② ダイレクト選曲ボタン
- ③ ディスクホルダー
- ④ シーアイ CD イジェクトボタン
- ⑤ シーアイ CD 演奏ボタン
- (停止)ボタン
- (一時停止)ボタン

- ⏮ (再生/REPEAT) ボタン
- 表示ボタン
- イントロ INTRODUCTION ボタン
- KKI / <<I- >> / >>I ボタン
- ⑥ プログラム (PROGRAM) ボタン
- ⑦ セットボタン
- ⑧ クリアーボタン

- ⑨ チェックボタン
- ⑩ オートエディットボタン
- EDIT ボタン
- C46 ボタン
- C60 ボタン
- C90 ボタン

ディスプレイ (CD部)

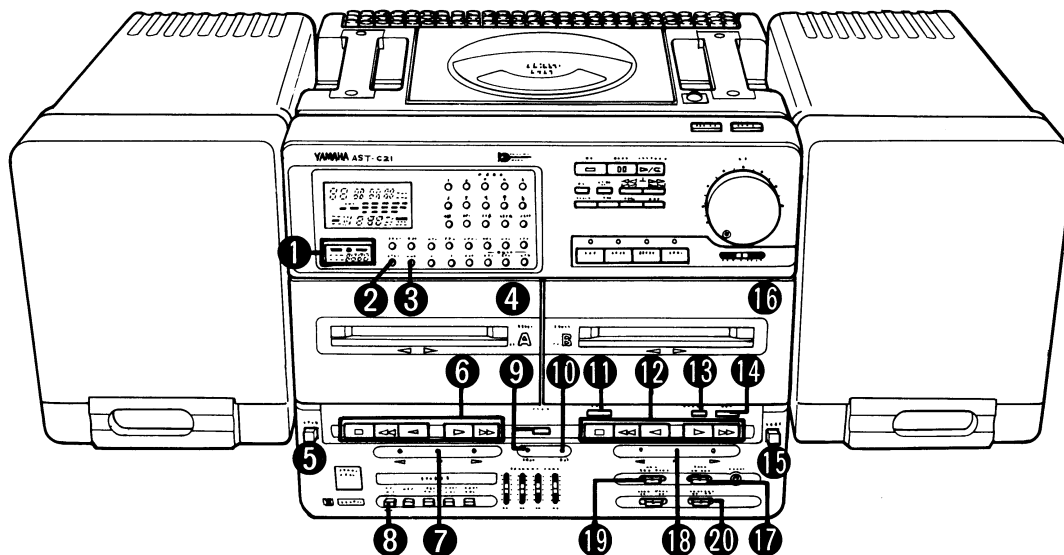


*ディスプレイのイラストは説明のため、全文字を表示してあります。

- 再生/リピート **⏮** ボタン
CDを演奏するときに押します。2回押すと、リピート（繰り返し）演奏ができます。
- 停止 **■** ボタン
演奏を止めるときに押します。
* 全曲の演奏が終わったときには、自動停止します。
- 一時停止 **□** ボタン
演奏を一時停止させるときに押します。
* **⏮** ボタンを押すと、再び演奏が始まります。
- スキップ/サーチ **KKI / <<I- >> / >>I** ボタン
頭出し演奏、飛び越し選曲、ポーズ時のサーチ演奏のときに使います。

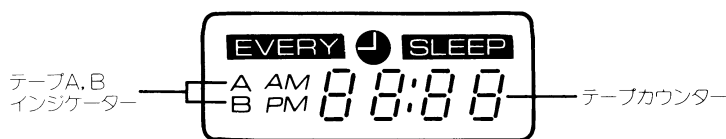
- イントロ **INTRODUCTION** ボタン
イントロ演奏のときに押します。
- 表示ボタン
演奏時間の表示を切り替えます。
- プログラム **PROGRAM** ボタン
プログラム選曲のときに使います。
- オートエディットボタン
CDをテープに録音するとき使います。テープ長さボタン(C46, C60, C90)で使用するテープを指定し、エディットボタンを押すと、曲がテープのA面とB面に自動的に振り分けられて録音されます。
* **KKI** または **>>I** ボタンでも使用テープの指定ができます。

■カセットデッキ部



- | | | |
|---|--|---|
| <p>①ディスプレイ(テープ部)
テープカウンター</p> <p>②テープA/Bボタン</p> <p>③カウンターリセットボタン</p> <p>④カセットホルダー(テープ A)</p> <p>⑤テープ取出しボタン(テープ A)</p> <p>⑥操作ボタン(テープ A)
ストップ
□ (停止)ボタン
◀ (早送り)ボタン
▶ (再生)ボタン/DIRECTIONインジケーター</p> | <p>▷ (再生)ボタン/DIRECTIONインジケーター
◀ (早送り)ボタン</p> <p>⑦テープA再生インジケーター</p> <p>⑧イコライザー録音ボタン</p> <p>⑨ダビングボタン/インジケーター</p> <p>⑩録音インジケーター</p> <p>⑪一時停止ボタン</p> <p>⑫操作ボタン(テープ B)
各ボタンの名称は、⑥と同じです。</p> | <p>⑬無録音スペースボタン</p> <p>⑭録音ボタン</p> <p>⑮テープ取出しボタン(テープ B)</p> <p>⑯カセットホルダー(テープ B)</p> <p>⑰ノイズリダクションスイッチ</p> <p>⑱テープB再生インジケーター</p> <p>⑲テープ切換スイッチ</p> <p>⑳走行モードスイッチ</p> |
|---|--|---|

ディスプレイ (テープ部)



※ディスプレイのイラストは説明のため、
全文字を表示してあります。

●テープA/Bボタン

押すと、ディスプレイの時計表示をテープカウンター表示に変えます。もう1度押すとテープカウンターの表示をテープ A または、テープ Bに切り替えます。

●カウンターリセットボタン

押すとテープカウンターの表示が "0000" となります。

●録音ボタン

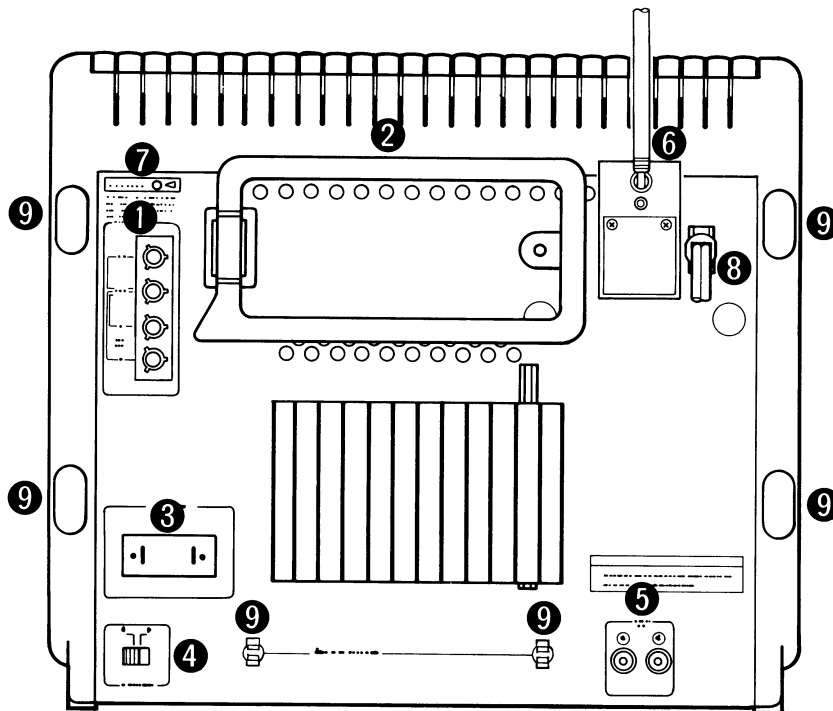
録音するときに押します。

※CDから録音するときには、リプレイ機能(テープが反転する際の音切れを防ぐ編集機能)が動作します。

●無録音スペースボタン

RECポーズ(録音中に一時停止ボタンを押した状態)のとき、このボタンを押すと自動的に4秒間の曲間スペースを作ってRECポーズの状態に戻ります。また、このボタンを押して、テープのリーダー部分(無録音部分)を送ることもできます。

■リアパネル部



- ① アンテナ端子
エー・エム
AM端子
アース端子
テレビ/エフエム
TV/FM端子(遠距離用)
// (近距離用)
- ② ループアンテナ
- ③ スピーカー端子

- ④ ビートキャンセルスイッチ
- ⑤ 補助入力端子
- ⑥ ロッドアンテナ
- ⑦ メモリーリセットボタン
- ⑧ 電源コード
- ⑨ スピーカーコード掛け用ブラケット

■停電すると

1時間程度の停電では、クロックおよびタイマーの内容は消えません。プリセットされたチューナーのプログラムは、3日程メモリーされています。

●メモリーリセットボタン

メモリーした内容を全て消したい時や、正しく表示しなくなった時は、電源コードを抜いて、このボタンを約1分間押ししてください。

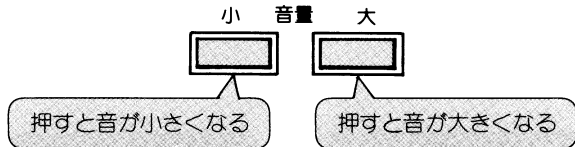
4

音量や音質を調整するには

■リモコンによる音量調整

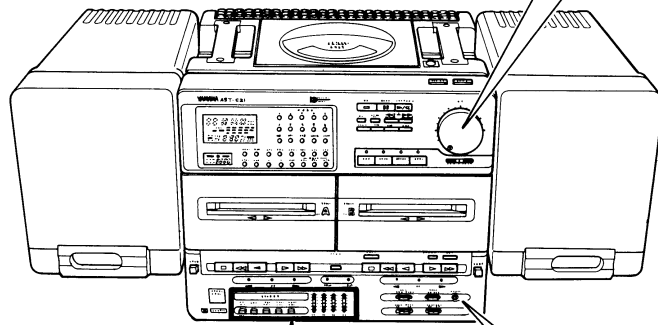
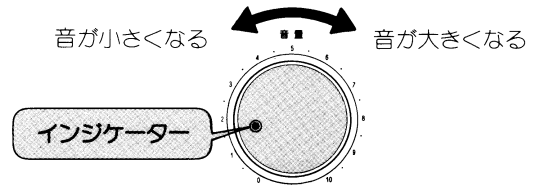
音量ボタンの大または小を押します。

- 押し続けると連続的に音量が変化します。
- 本体の音量ツマミは、インジケータを点滅させながら回転します。



■音量を調整するには

音量ツマミを回します。



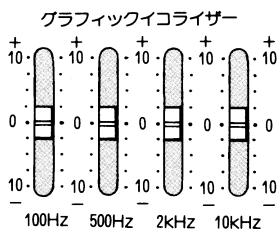
■音質を調整するには(サウンドモード)

音楽ソースに合わせてサウンドモードボタンを押します。

サウンドモード	
イコライザ	ホール
入	ロック
切	コンサート
	ジャズ
	クラブ
	グラフィックイコライザ

ホール	コンサートホールの臨場感を出したいときや、クラシック音楽を再生するとき。(モノラルソースでは効果はありません)
ロックコンサート	ロックコンサートでのライブ感や、メリハリのあるサウンドを再生したいとき。
ジャズクラブ	中域のレベルを増して、管弦楽器、さらにボーカル等をリアルに再生したいとき。
グラフィックイコライザ	グラフィックイコライザをマニュアルで調整するとき。

グラフィックイコライザボタンを押したときには、グラフィックイコライザツマミで、音質を調整します。



- ツマミを上下にスライドさせると、そのツマミの周波数付近の音質を調整できます。

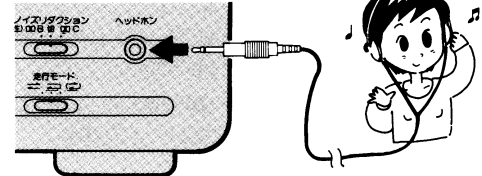
- イコライザ録音ボタンを「入」にすると録音時にもグラフィックイコライザを使用できます。

- ↑ 上にスライドさせるとその周波数を中心として音が強調される
- ↓ 下にスライドさせると音が弱くなる

■ヘッドホンで聞くには

ヘッドホンのプラグをヘッドホンジャックに接続します。

- インピーダンス8~32Ω、直径3.5mmのミニプラグ付きのヘッドホンをご使用ください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音は聞こえません。



グラフィックイコライザボタンを押したときには、グラフィックイコライザツマミで、音質を調整します。

100Hz

ベースやドラム等の低音域をコントロールします。

500Hz

ボーカル等が再生される音域をコントロールします。

2kHz

弦楽器等、音の「ツヤ」が表現される音域をコントロールします。

10kHz

シンバルやトライアングル等、超高音域をコントロールします。

5

リモコンの使い方

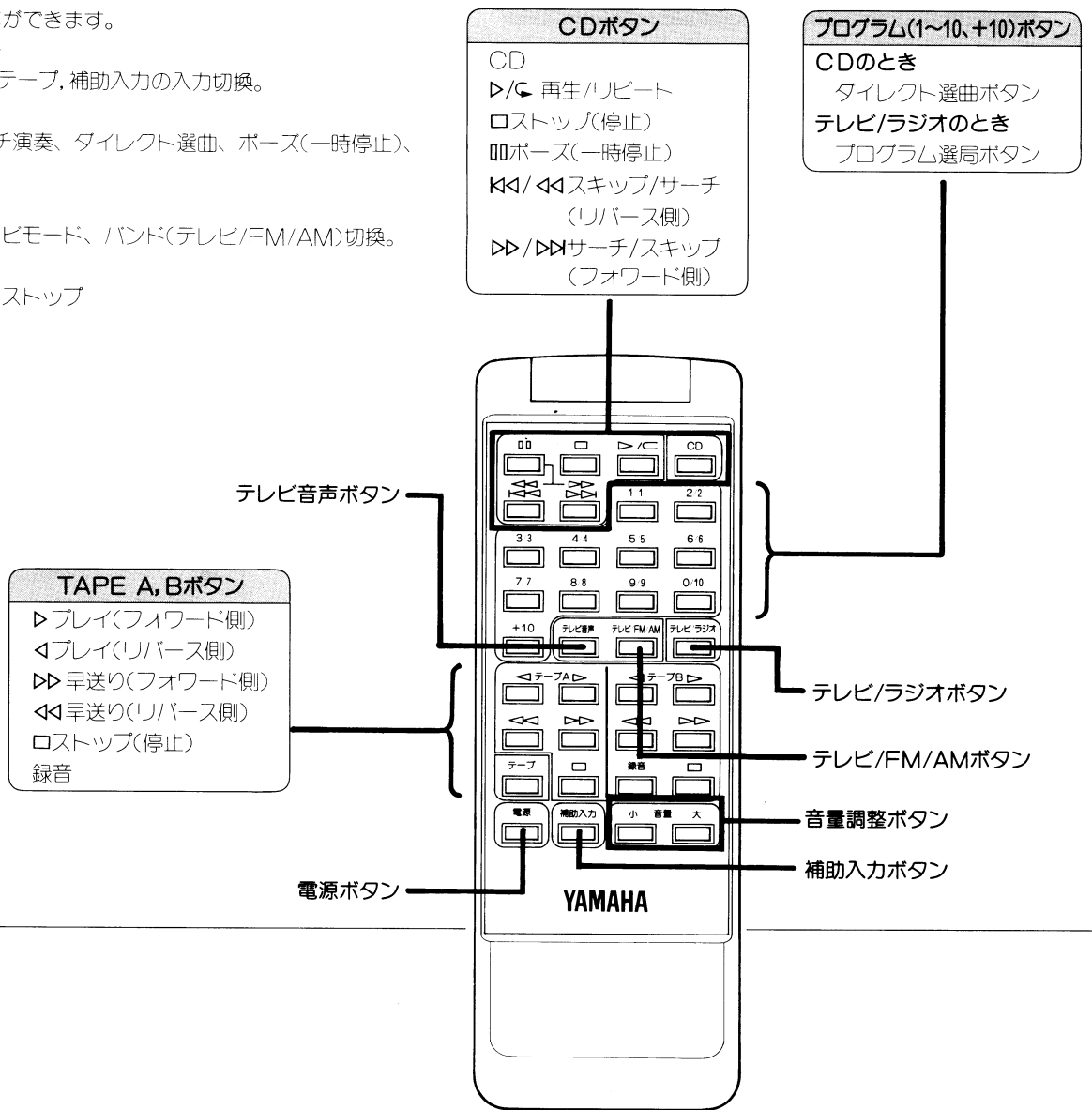
■リモコンを使う前に

- 受信部とリモコンの間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高い所には置かないでください。
- 受信部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明または本体の向きを変えてください。
- 他の機器のリモコンを同時に操作すると、動作しないことがあります。

■リモコンの操作

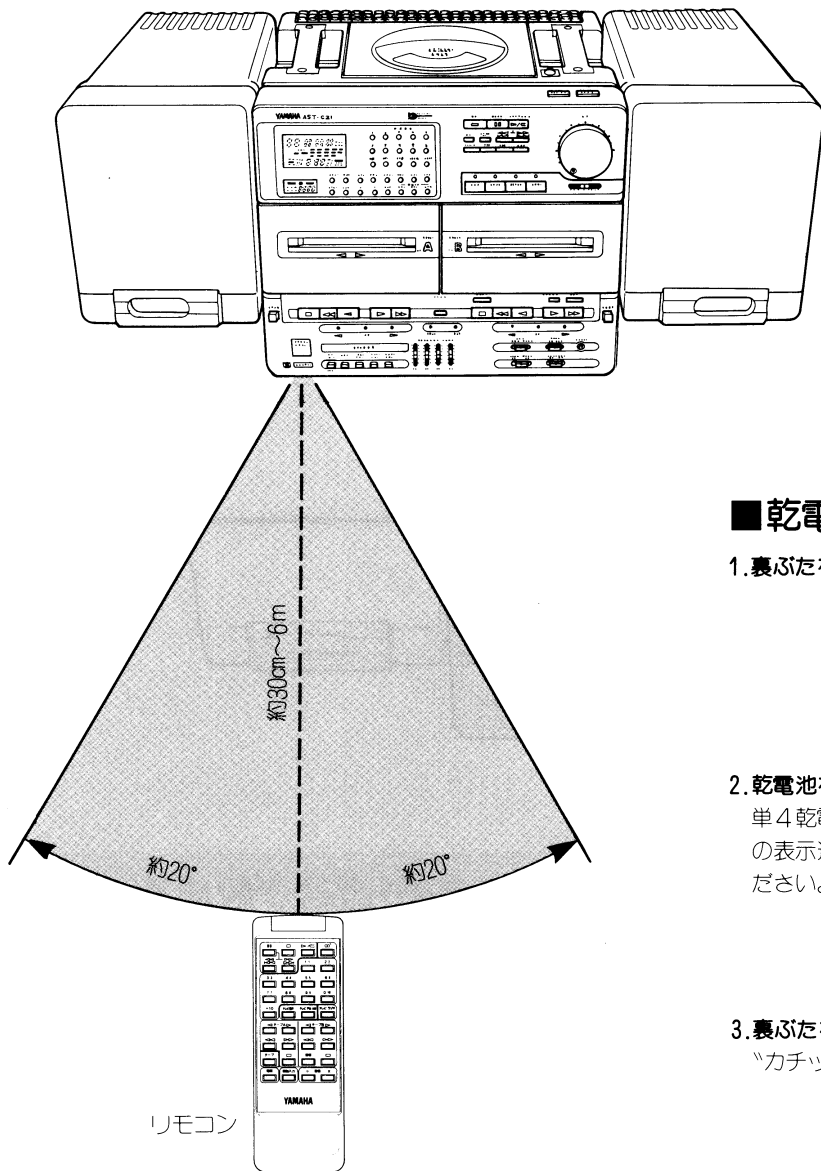
リモコンでは、次の操作ができます。

- インプットセクター**
CD、テレビ/ラジオ、テープ、補助入力の入力切換。
- CD**
再生/リピート、サーチ演奏、ダイレクト選曲、ポーズ(一時停止)、ストップ。
- テレビ/ラジオ**
プログラム選局、テレビモード、バンド(テレビ/FM/AM)切換。
- テープ**
再生、早巻き、録音、ストップ
- 音量(音量調整)**
- 電源のON, OFF。**



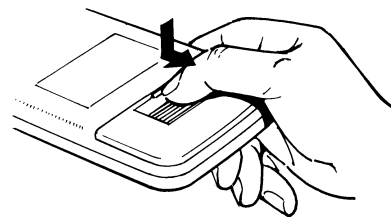
■ リモコンについてのご注意

リモコンが使用できる範囲は



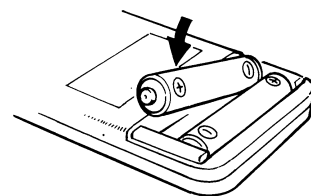
■ 乾電池の交換

1. 裏ぶたをはずす。



2. 乾電池を入れる。

単4乾電池×2個を、⊕⊖の表示通り正しく入れてください。



3. 裏ぶたを閉じる。

“カチツ”と音がするまで、確実に閉じてください。

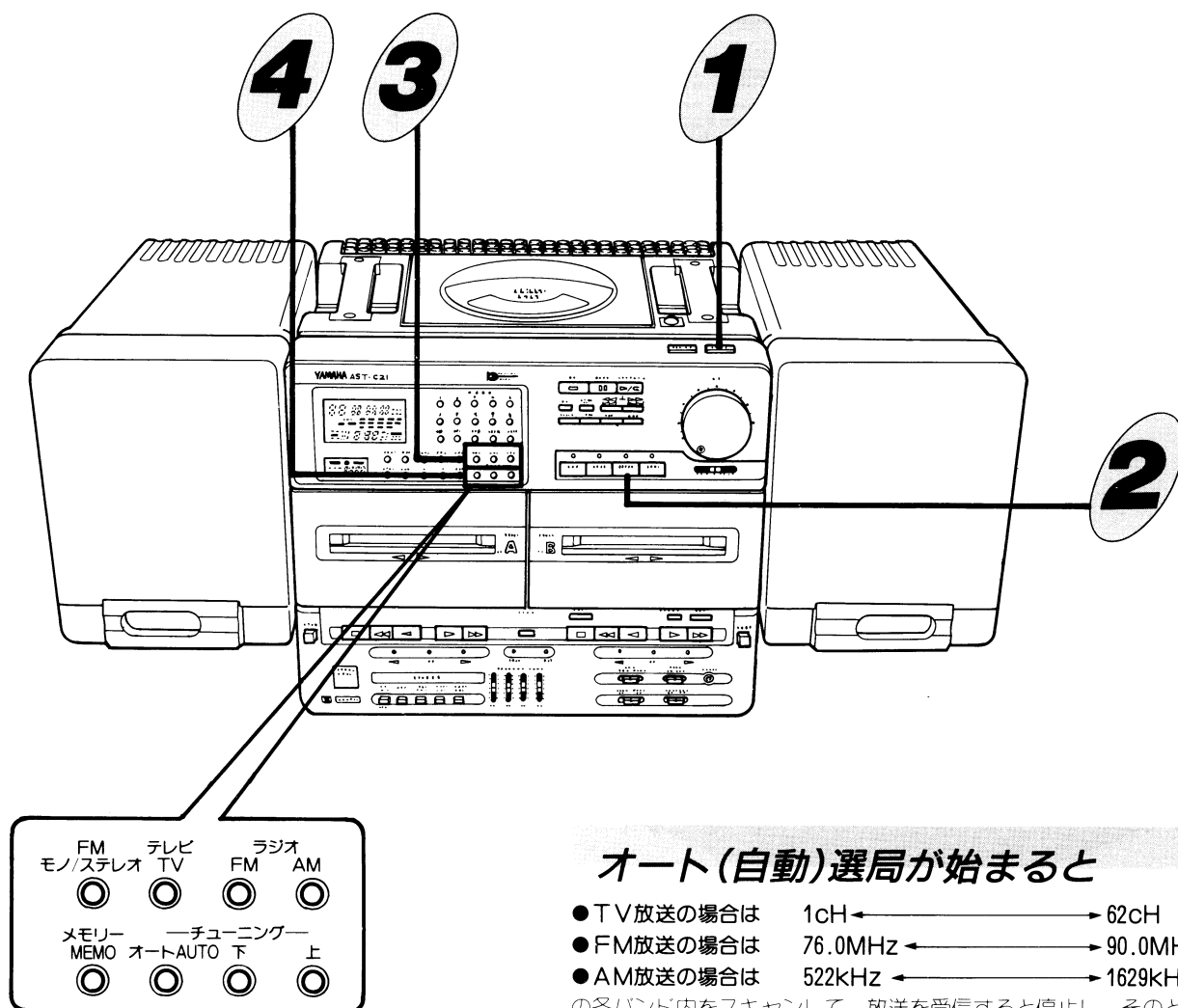
■ 乾電池についてのご注意

乾電池は誤った使い方をすると、液もれや破れつすることがあります。次のことを守ってください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類のちがうものを混ぜて使わないでください。
- 長い間使わないときは、全部取り出しておいてください。
- 液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

ラジオ放送やテレビ音声を聞くには

オート(自動)選局のしかた



オート(自動)選局が始まると

- TV放送の場合は 1cH ← → 62cH
- FM放送の場合は 76.0MHz ← → 90.0MHz
- AM放送の場合は 522kHz ← → 1629kHz

の各バンド内をスキャンして、放送を受信すると停止し、そのときの受信周波数やチャンネル数がディスプレイに表示されます。

■電波の弱い放送局や雑音の多い放送を受信するには

- 電波が弱い放送局は、受信してもオートチューニングが止まらないことがあります。この場合、チューニングオートボタンを押してAUTOインジケータを消し、マニュアル選局(右記)にて受信してください。FM受信時に雑音が多い場合には、FMモノステレオボタンを押してステレオモードインジケータを消し、モノラルモードで受信してください。雑音が大幅に少なくなります。

マニュアル選局

AUTOインジケータが消えた状態でチューニングボタンの上または下ボタンを押すと周波数が1つずつ変わります。これをマニュアル選局といいます。

1



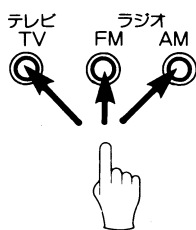
電源スイッチを押す。

2



テレビ/ラジオボタンを押す。

3

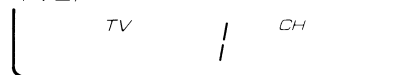


希望のバンドを選ぶ。

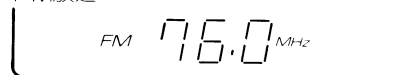
- TV………TV音声を聞くとき
- FM………FM放送を聞くとき
- AM………AM放送を聞くとき

FM放送を聞くときは、^{IFEM}FMモノ/ステレオボタンを押してステレオモードインジケータを点灯させます。

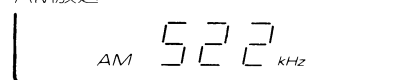
●TV音声



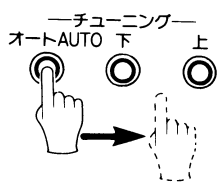
●FM放送



●AM放送



4

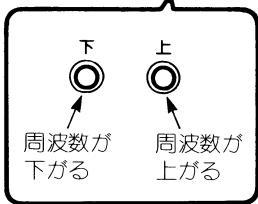


チューニングオートボタンを押してから

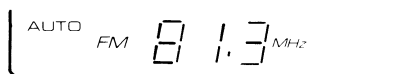
↓
チューニングボタンの上または下を押す。
放送局を深して自動停止します。

ステレオ放送を受信すると、MULTI/STインジケータが点灯します。

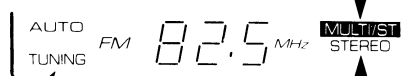
- 他の放送を受信したいときは、もう一度チューニングボタンを押してください。



(例) FM放送 82.5MHzを受信した場合



受信すると ↓ ステレオ放送のとき点灯



↓ ステレオモードのとき点灯
放送局を受信するとTUNINGインジケータが点灯して自動停止

■インプットセレクトターをテレビ/ラジオ以外にしたときは、周波数やチャンネルの表示はついたままになります。

このとき選局操作をしても動作しません。必ずテレビ/ラジオボタンを押してから操作してください。

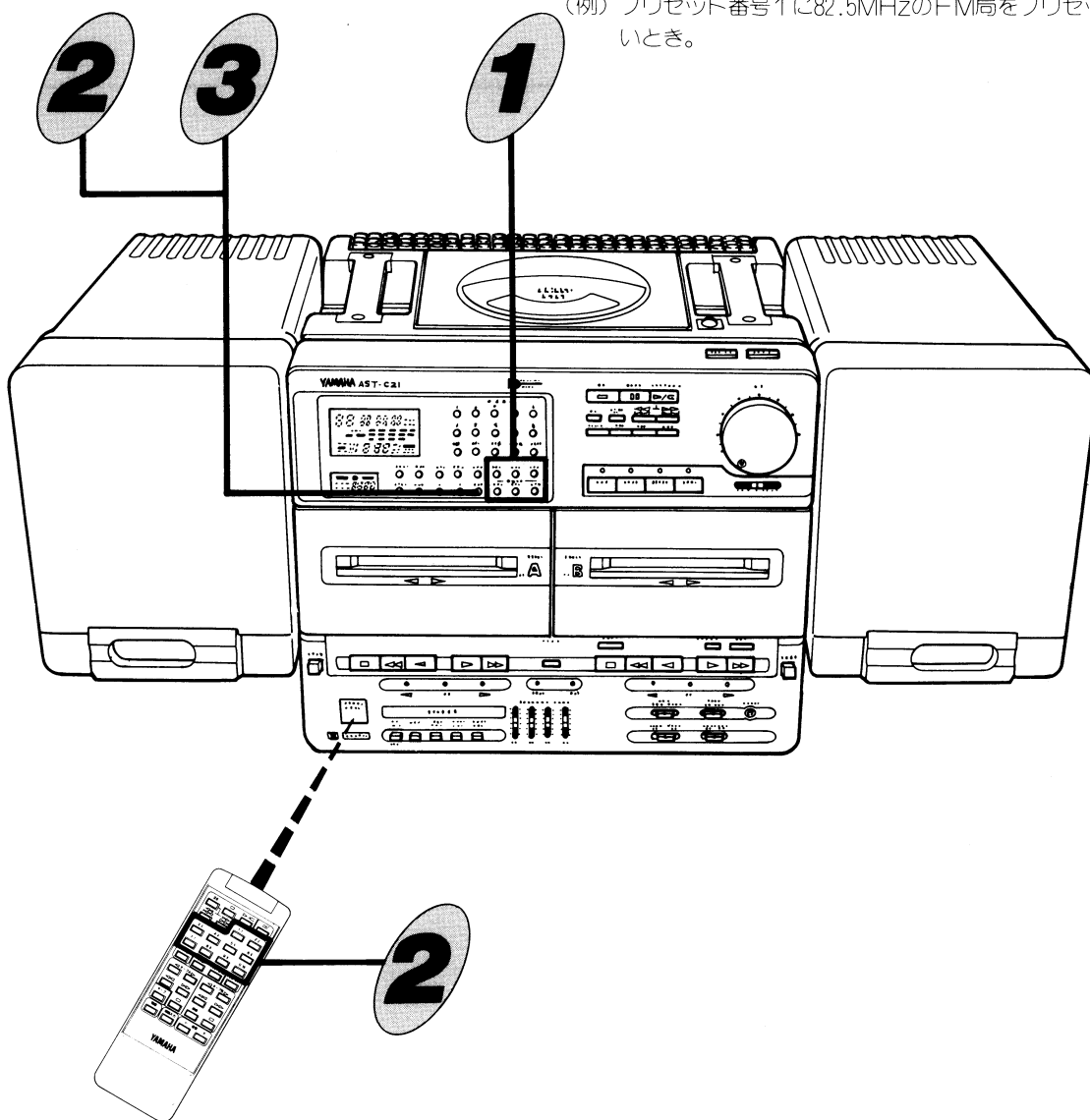
■TV受信について

本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しております。この為、地域によってはテレビの2または3チャンネル受信時の音声にFM放送が混信することもあります。

プリセット選局のしかた

■プログラムのしかた

(例) プリセット番号1に82.5MHzのFM局をプリセット予約したいとき。

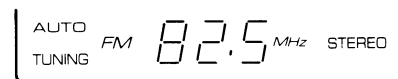
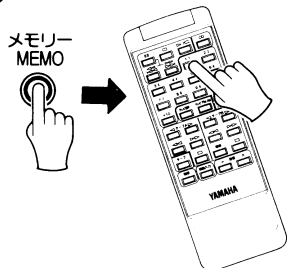


1

「オート(自動)選局のしかた」1~4の手順で、希望の放送を選局する。

2

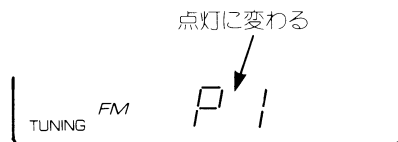
メモリーMEMOボタンを押してから、リモコンのプログラムボタンを押す。
(この場合は1)



点滅

3

もう一度メモリーMEMOボタンを押す。



点灯に変わる



2秒後に周波数表示に変わる

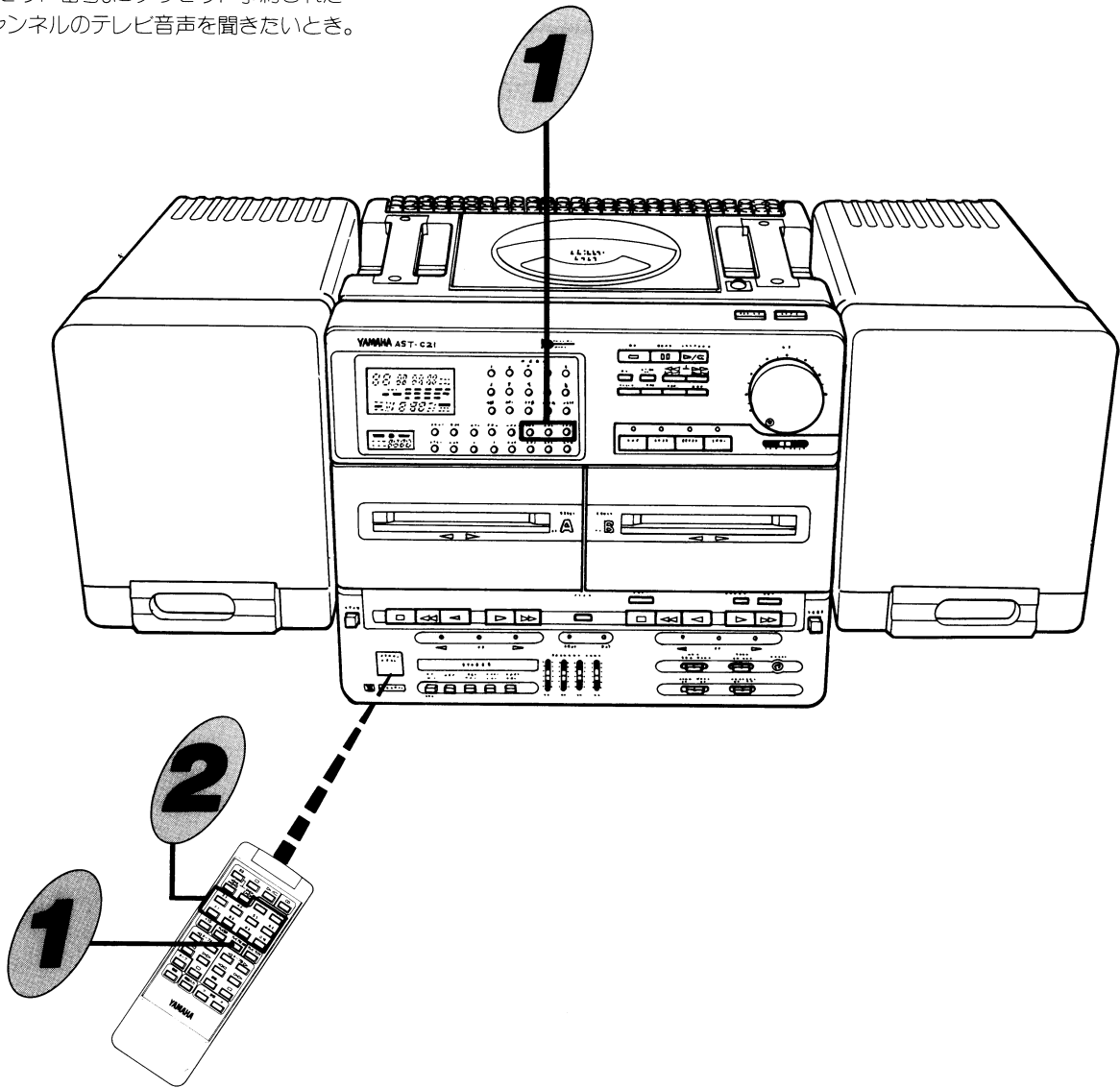
1~3の操作を繰り返し、他の放送局をプリセット予約します。
FM, AM, TV各10局(合計30局)のプリセット予約ができます。

プログラムした放送局を変えるとき

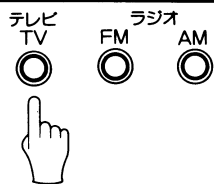
1~3の操作で他の放送局を新しくプリセット予約すると、前のプログラムは消えます。

■プリセット選局のしかた

(例) プリセット番号3にプリセット予約された
8チャンネルのテレビ音声を聞きたいとき。



1

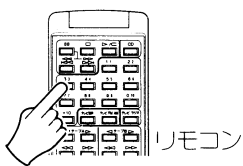


この場合はテレビ

希望のバンドを選ぶ。(付属リモコンのバンドボタンで選ぶこともできます。)

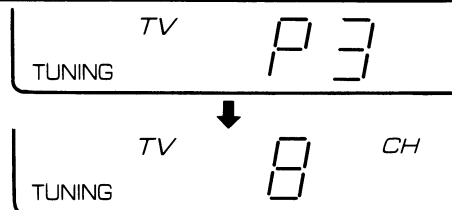
- TV………TV音声を聞くととき
- FM………FM放送を聞くととき
- AM………AM放送を聞くととき

2



リモコン

プリセット番号を選ぶ。
(この場合は3)



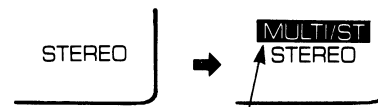
■FMステレオ放送を聞くには



FMモノ/ステレオボタンを押し、^{ステレオ}STEREOインジケータを点灯させます。

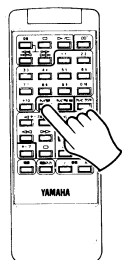
●FMモードは、プリセット選局のプログラム時に設定することができます。

※ステレオモード時には弱い電波の放送局はミュートイングがかかり、聞こえないことがあります。



FMステレオ放送を受信すると、**MULTI/ST**インジケータが点灯します。

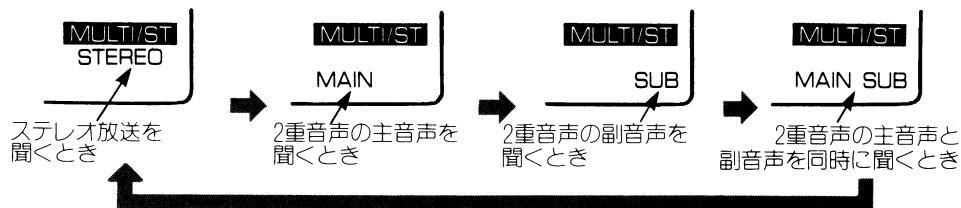
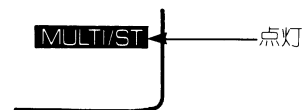
■テレビの音声多重放送を聞くには



リモコン

テレビのステレオ放送や、2重音声(2ヶ国語)放送を受信すると **MULTI/ST**インジケータが点灯します。

リモコンのテレビ音声ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が変わります。
(2重音声放送を受けていない時は、変わりません。)



主音声とは………番組本来の音声。(日本語)

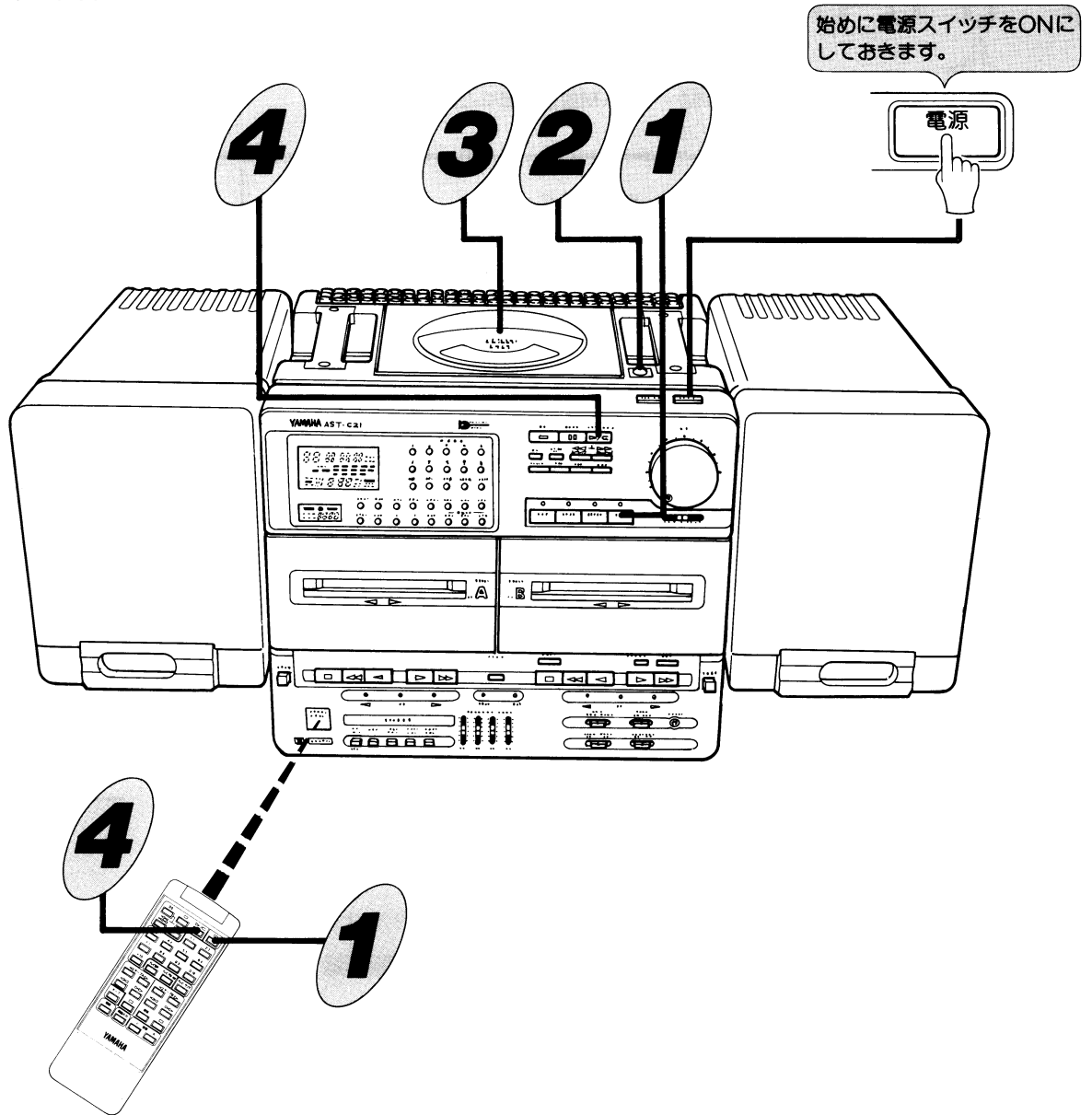
副音声とは………外国語や主音声を補うための解説等。

- テレビ音声の電波が弱いときは、音声多重放送の受信はできません。

7

CDを演奏するには

演奏と基本操作



ご注意

- CD演奏中にディスクを取り出すときは、必ず^{停止}ボタンを押し、ディスクが停止したことを確認してから、**△**ボタンを押してください。
- CDを操作すると、近くのチューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じることがあります。特に室内アンテナを使用しているチューナーやテレビに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をお勧めします。
- 本機に衝撃を与えたり、振動しやすい場所でお使いになると、音とびを起すことがあります。CDの内容によっても音とびを起

すことがありますので、この場合、音を小さくしてお聞きください。

- 演奏中に**△**ボタンを押さないでください。

■ミュージックカレンダーについて

ディスクホルダーにディスクをセットすると、ディスクに収録されている曲数に対応した番号が、ミュージックカレンダーに点灯します。

演奏を終えた曲番は順次消灯します。

プログラム選曲時は、プログラムされた曲の曲番が点灯するため、事前にセットミスを防ぐことができます。

1 CDボタンを押す。
●CDディスプレイが点灯します。

点滅 → Cd 0:00
↓
no disc

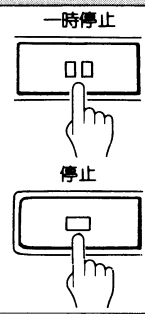
2 台ボタンを押し、CDを入れる。

3 フタを閉める。
●CDの表示が点滅。●CDに収められている曲数と総演奏時間が表示され、曲数分のミュージックカレンダーが点灯します。
●約4秒後、「01」の表示に変わり1曲目の演奏時間が表示されます。

●CDの表示が点滅 → Cd 0:00
↓
(例) 12 48:58 TOTAL
↓
(例) 01 3:51 REMAIN

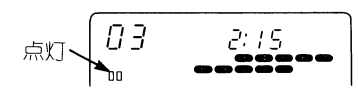
4 再生/リピート REPEAT ボタンを押す。
●1曲目の頭を探すまで▷が点滅します。
●1曲目の頭を見つけると▷が点灯になり、曲ごとの経過時間が表示されます。
●ミュージックカレンダーは、終わった曲番から消えて行きます。
●最後まで演奏すると、自動的に停止します。

再生/リピート REPEAT
演奏表示点滅 → 01 0:00
↓
曲ごとの経過時間
3曲目を演奏中 → 03 2:15



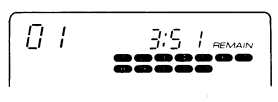
演奏を一時的に止めるには

ポーズ (一時停止) ボタンを押す。
●その位置で一時停止します。
●再び演奏を始めるには再生/リピート ボタンを押します。

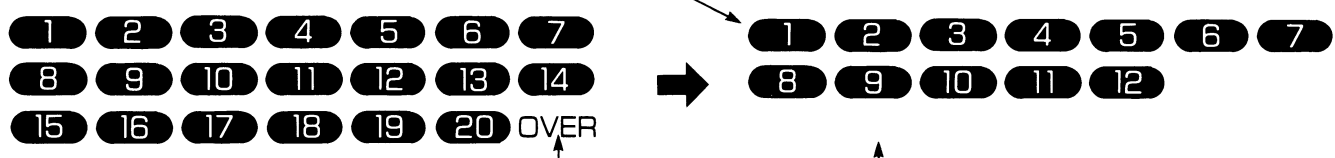


演奏を止めるには

停止 ボタンを押す。



点灯⇒演奏が終わると曲番が順次消える (例) 12曲入っているディスクをセットした場合

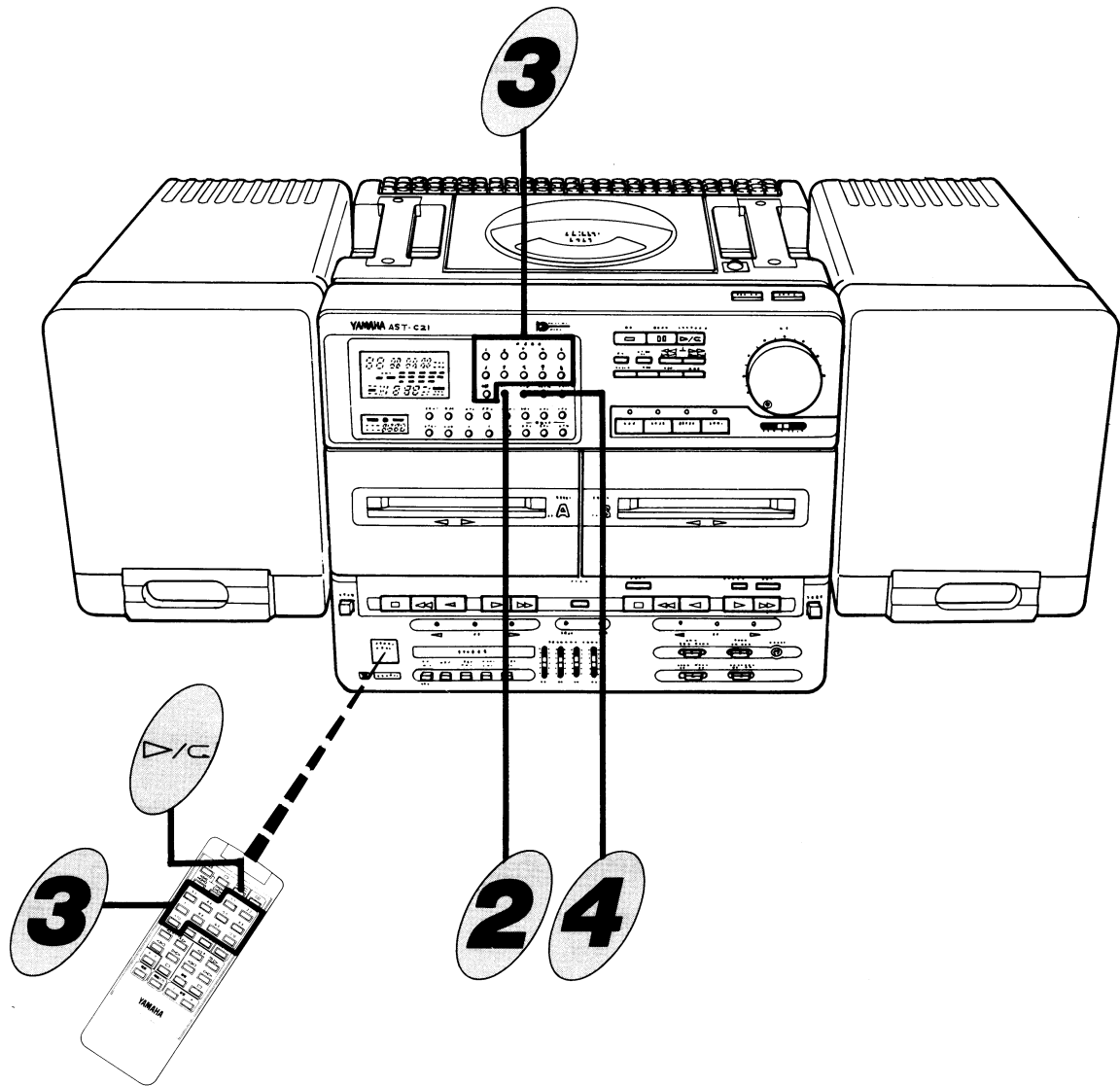


OVER: 21曲以上入ったディスクをセットすると点灯

ディスクにない曲番号は点灯しない

CDを演奏するには

聞きたい曲を聞きたい順に記憶させて聞く(プログラム演奏)



プログラムを消すには

クリアー



停止中(PROGが点灯中)に、クリアーボタンを押す。

- 記憶した曲番が全て取り消されます。
- 記憶中(PROGが点滅中)に、クリアーボタンを押すと、最後に記憶した曲番だけを取り消すことができます。
- 演奏中や一時停止中に曲番を記憶させたり、取り消すことはできません。

■プログラムのしかた

1 「演奏と基本操作」1~3の順で、^{シーク}CDをセットします。 (例)

2 プログラム
PROG 停止中にプログラムボタンを押す。 (例)

3 本体またはリモコンの選曲ボタンを押して、曲番を選ぶ。
●曲番表示と同じミュージックカレンダーの番号が点滅。 (例)

4 セット 設定ボタンを押す。 (例)

(例) 5曲目を選んだときの点滅

(例) 記憶した順番 点灯

3~4の操作を繰り返し、聞きたい順にメモリーします。(最大20曲まで)

■プログラム演奏のしかた

再生/リピート REPEAT 再生/リピート ボタンを押す。⇒ 選曲した順に、演奏が始まります。

演奏中にKKIボタンやDKIボタンを押すと、前の曲や次の曲の頭出しをして、その曲から演奏を始めます。
(例) 5→9→7曲目の順にメモリーした場合

演奏の順番をチェックするには

チェック 停止中に、チェックボタンを押す。
●演奏中やポーズ(一時停止)中に押すと、次に演奏される曲番が約2秒間点滅します。
●最後の曲で押すと"End"が表示されます。

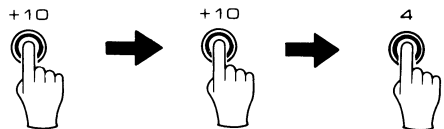
演奏される曲番
演奏順
ディスク上の曲番
演奏順に点滅

21曲以上のディスクでは

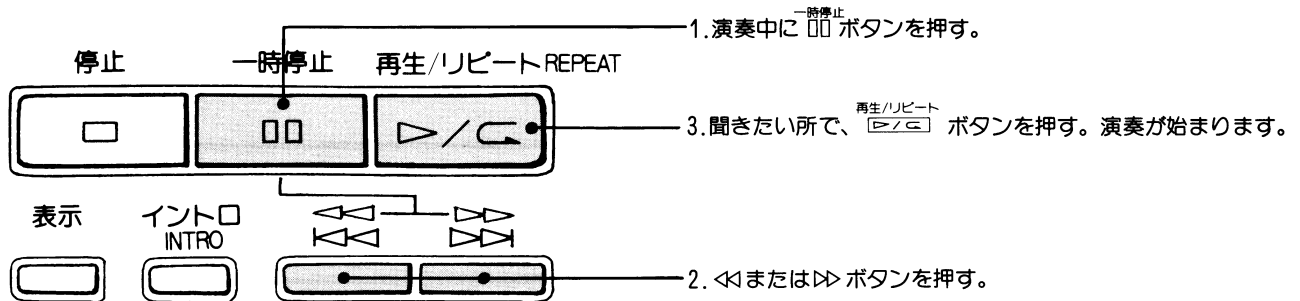
- 21曲以上のディスクでは、ディスプレイにOVERと表示されます。OVER表示されていても、演奏の操作方法は20曲以内のディスクと同じです。但し、時間表示はされません。

プログラムの方法は

- +10ボタンを押した後1~9ボタンを押します。
(例) 24曲目⇒+10⇒+10⇒4



■曲を早聞きしながら聞きたいところを探すには(サーチ選曲)



サーチ選曲の速さについて

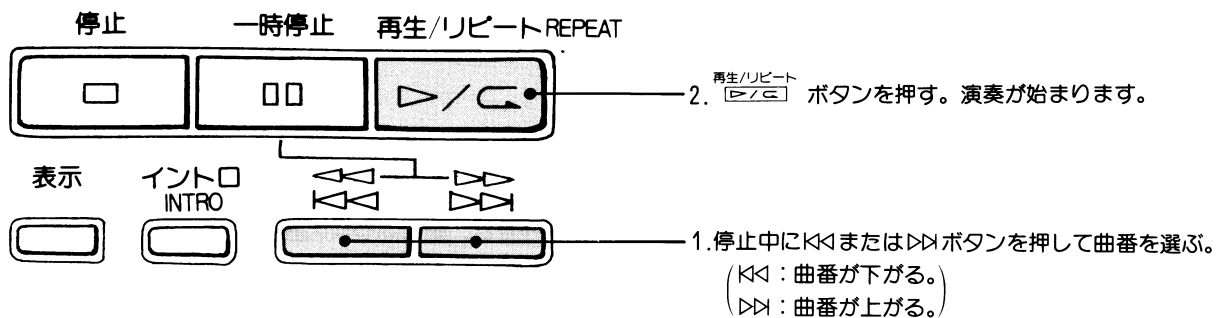
サーチ選曲開始後、約2秒間は通常の2倍の速さ、その後は約15倍の速さで選曲します。選曲中は小さな音が聞こえますので、この音を目安にして、好きなところを探してください。

Endの表示について

サーチ選曲中、早送りの状態で最後になると“End”が表示されます。このときは<<</>>>ボタンまたは□ボタンを押してください。

●プログラム演奏やイントロ演奏中には、サーチ選曲はできません。

■聞きたい曲の頭から聞く(スキップ選曲)

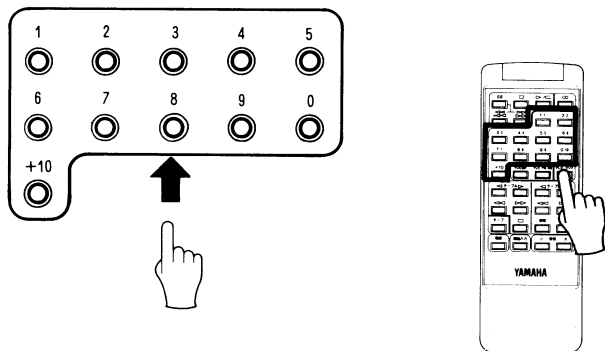


●曲を続けて飛び越したいとき

<<または>>ボタンを繰り返して押します。曲番表示された曲から演奏が始まります。

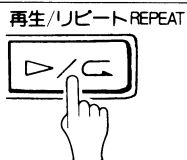
■聞きたい曲から聞く(ダイレクト選曲)

本体またはリモコンのダイレクト選曲ボタンを押す。➡ 選んだ曲の頭から演奏が始まります。



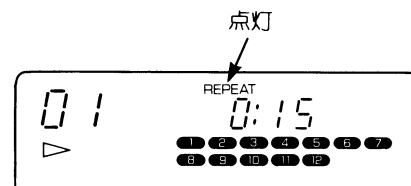
■繰り返して聞く(リピート演奏)

全曲を繰り返して聞くには

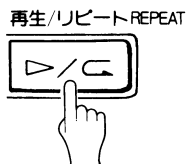


再生/リピート REPEAT ボタンを2回押してREPEATインジケーターを点灯させる。

最後の曲まで演奏されると、最初の曲へ戻り、全曲を繰り返し演奏します。



聞きたい曲だけ、繰り返し聞くには

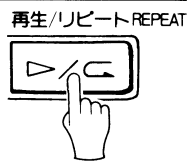


「聞きたい曲を聞きたい順に記憶させて聞く(プログラム演奏)」の手順で1曲または聞きたい曲を数曲選ぶ。(※25ページ)

再生/リピート REPEAT ボタンを押してREPEATインジケーターを点灯させる。

- 1曲または選曲した曲を繰り返し演奏します。

繰り返し演奏を止めるには



再生/リピート REPEAT ボタンを押してREPEATインジケーターを消す。

- 普通の演奏に戻ります。

■各曲のイントロを自動的に聞くには(イントロ演奏)

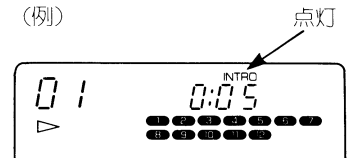
CDに入っている各曲の頭を約15秒間ずつ、自動的に演奏することができます。



イントロ INTRO ボタンを押す。

- 1曲目から、イントロ演奏が始まります。
(曲の頭を約15秒間だけ演奏すると、自動的に次の曲の頭を演奏し、最後の曲の頭まで演奏します。)
- 最後の曲までイントロ演奏すると、自動的に停止します。
- イントロ演奏の繰り返しはできません。

(例)



イントロ演奏を止めるには

再生/リピート REPEAT



再生/リピート **REPEAT** ボタンを押す。

- INTRO表示が消え、普通の演奏に戻ります。

■イントロ演奏しながら、プログラム選曲するには(イントロプログラム選曲)

イントロ演奏で各曲の頭を聞きながら、聞きたい曲番を記憶することができます。



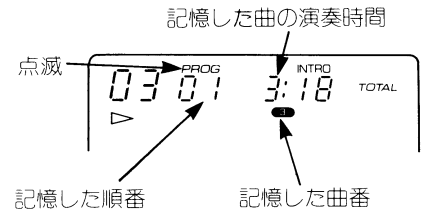
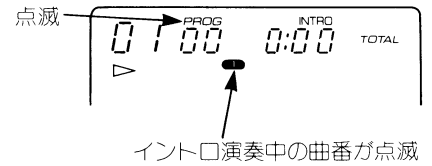
1. **イントロ INTRO** ボタンを押す。

- イントロ演奏を始めます。

2. **プログラム PROG** ボタンを押す。

3. 記憶したい曲を演奏中に、**セット** ボタンを押す。

- セットボタンを押すと、次の曲のイントロ演奏に切り替わります。
- 最後の曲までイントロ演奏すると、自動的に停止します。
- イントロプログラム機能を使っているときは、再生/リピートボタンは動作しません。



イントロプログラム選曲を止めるには

ストップ ボタンを押します。

- INTRO表示が消え、イントロ演奏が止まります。ただし、プログラム選曲の記憶は残ります。

■ディスプレイの表示について

表示ボタンを押すたびに、ディスプレイの時間表示が次のように切り替わります。

停止中に押すと

表示



曲ごとの演奏時間を表示します。

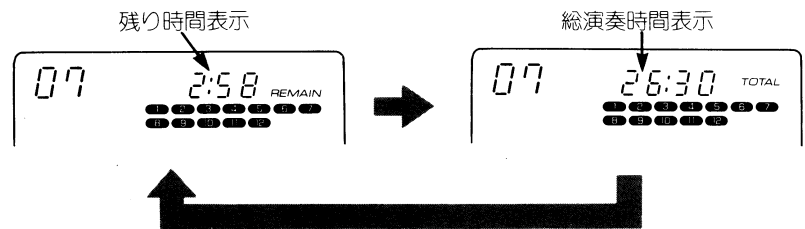
- 曲番表示は<<</>>>または<<</>>>ボタンを押して変えます。

(例) 7曲目に2分58秒の曲が入っているとき

- 曲ごとの演奏時間

(例) CDの始めから7曲目までが、26分30秒のとき

- CDの始めから、今表示している曲番を含む総演奏時間



演奏中に押すと

表示

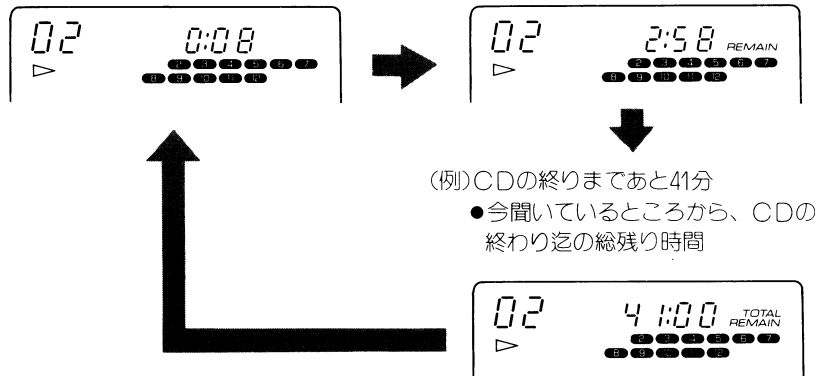


(例) 2曲目の頭から8秒経過

- 曲ごとの演奏経過時間

(例) 2曲目の終わりまであと2分58秒

- 曲ごとの残り時間



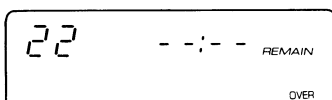
(例) CDの終わりまであと41分

- 今聞いているところから、CDの終わり迄の総残り時間

21曲以上入ったディスクでは

“---:---”“OVER”が表示されます。

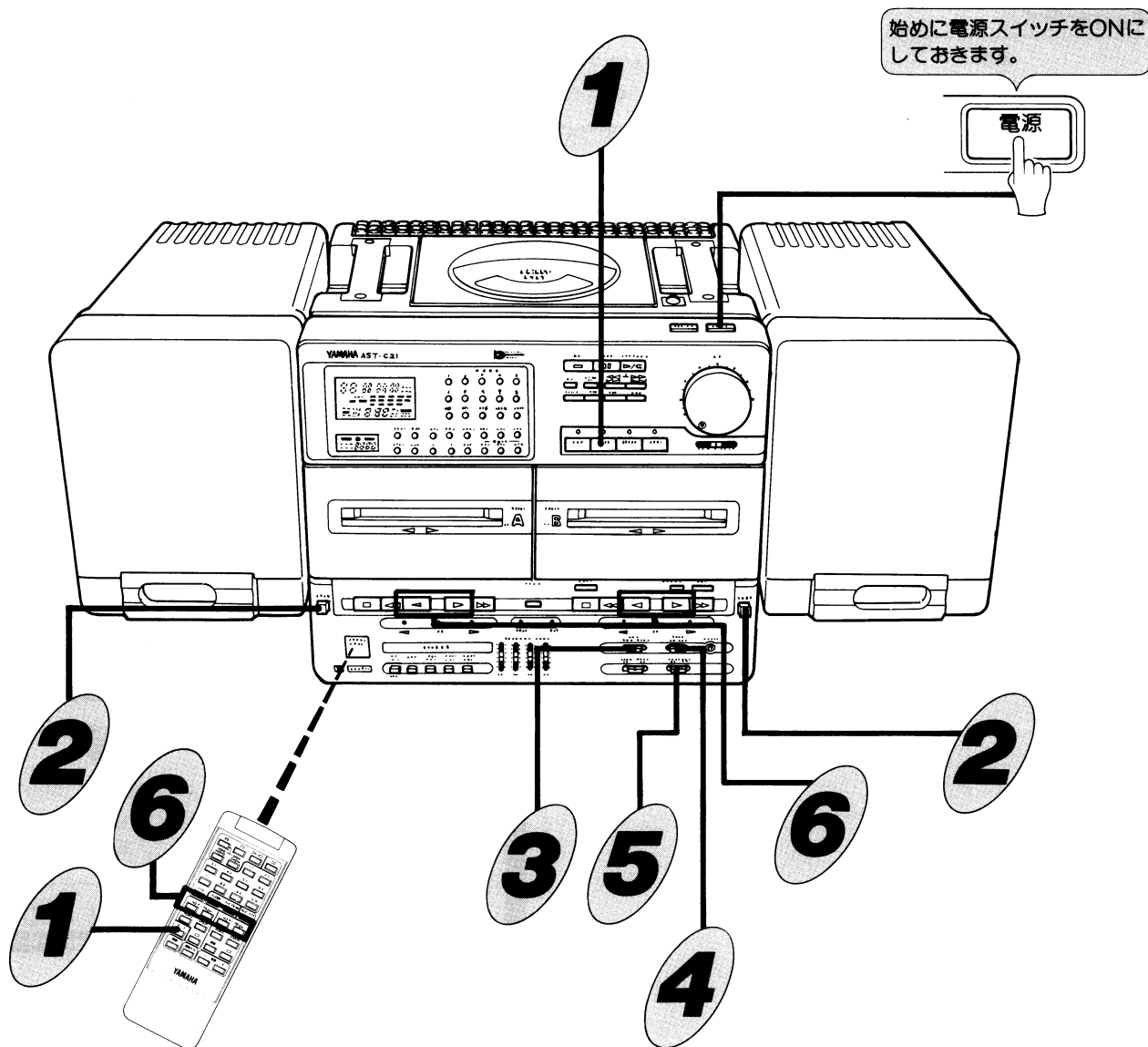
(例)



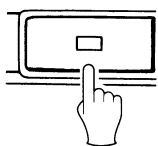
- お使いになるCDによっては、ジャケットなどに記載されている演奏時間に、曲間部の時間が含まれていないため、表示内容が合わないことがあります。
- 21曲以上入ったCDをお使いのときは、次のような場合、時間が表示されません。
 - ①停止中、21曲目以降の曲番を表示させた場合。
 - ②21曲目以降を演奏中に、残り時間を切り替えた場合。
 - ③プログラム選曲で21曲目以降の曲番を記憶した場合。
(記憶した曲の積算時間が100分を越えた場合も、時間は表示されません。)

8

テープの再生



テープを止めるには



ストップ
□ ボタンを押す。

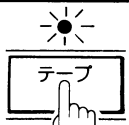
ご注意

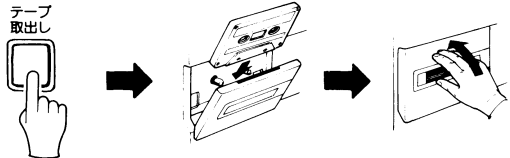
- 2つ以上の操作ボタンを、同時に押さないでください。同時に押すと、正しく動作しないことがあります。
- 操作ボタンは、ゆっくりと確実に押してください。正しく動作しないときは、もう一度押してみてください。

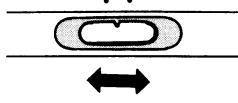
■ノイズリダクションについて

カセットテープを再生すると、「サーツ」というテープヒスノイズが聞こえます。耳障りなこのテープヒスノイズを減らすために、本機ではDOLBY NRシステムのBタイプおよびCタイプを採用し、ノイズリダクションスイッチを切り替えて使用することができます。図は、ドルビーB NRとドルビーC NRシステムで録音・再生したときの周波数特性とノイズ低減効果を示したものです。ドルビーC NRの場合、ドルビーB NRに比べノイズはさらに低減され、約20 dBの改善効果があることが分かります。

- ドルビーNRシステムは、録音・再生を通じてノイズを低減しますので、再生時にはノイズリダクションスイッチは必ず録音時と同じ状態にしてください。

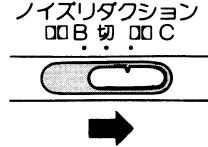
1  テープボタンを押す。

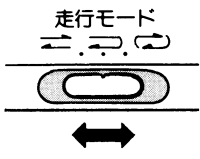
2  テープ A または テープ B のテープ取出しボタンを押し、カセットテープを入れ、カセットホルダーを閉じる。




3  テープ切替スイッチを切り替える。




クローム (メタル再生)	メタルテープ、クロームテープ を使うとき
ノーマル	ノーマルテープを使うとき

- テープ A とテープ B が同時に切り替わりま
す。
- メタルテープは、再生時だけ使用できます。

4  ノイズリダクションスイッチをテープの録音時と同じ位置に合わせて切り替える。

5  走行モードスイッチを切り替える。

	片面だけ再生するとき
	両面を再生するとき
	両面を繰り返し再生するとき

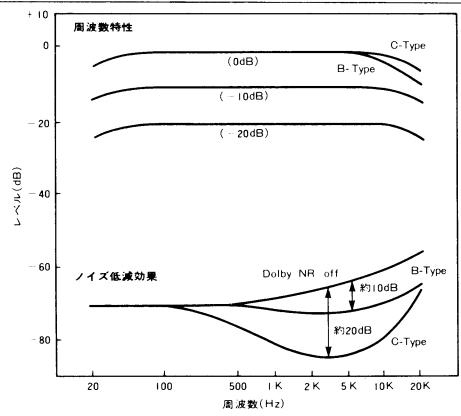
- 走行モードスイッチが  の時のみ、テープ A とテープ B の両方のカセットテープを入れると、連続再生 ( テープ B → テープ A ) ができます。
(※34ページ)

6  カセットテープを入れたデッキの ◀ または ▶ ボタンを押す。

- 再生が始まります。

裏面(B面)から再生するとき
(反転: リバース方向)

表面(A面)から再生するとき
(フォワード方向)



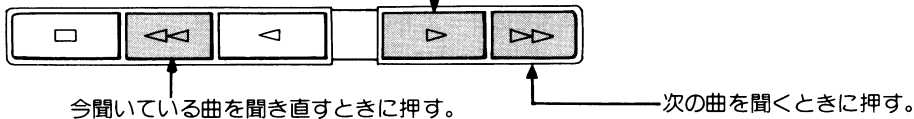
DOLBY NRの登録商標について
 ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンス
 ングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
 「ドルビー」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンス
 ングコーポレーションの登録商標です。

■曲の頭出しをするには(頭出し再生)

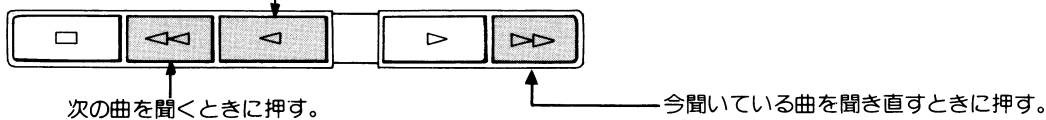
今聞いている曲を飛び越して前後の曲を聞くことができます。

●テープ A、テープ B 共、操作は同じです。

1. テープの表面(A面)を再生しているとき



2. テープの裏面(B面)を再生しているとき



●テープ再生時の曲の頭出しについて

- 再生方向と同方向の早送りボタンを押した時の頭出し
早送りボタンを、1回押すと次の1曲目
2回押すと次の2曲目
3回押すと次の3曲目
4回押すと次の1曲目
(以下繰り返し) の頭出しを行います。
- 再生方向と逆方向の早送りボタンを押した時の頭出し
早送りボタンを、1回押すと今聞いている曲
2回押すと1つ前の曲
3回押すと2つ前の曲
4回押すと今聞いている曲
(以下繰り返し) の頭出しを行います。

●頭出し再生ができないのは

頭出し再生は、ミュージックテープの約4秒間の無録音スペースを検出して動作します。次のようなテープを再生したいときは、正常な動作をしないことがあります。

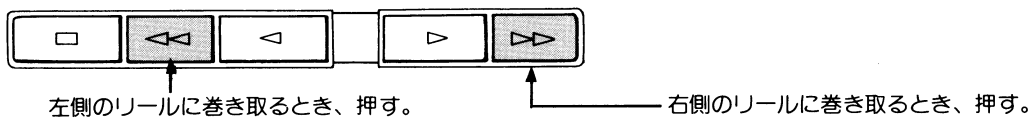
- 会話や落語等、音声が続いているテープ。
- 曲全体の録音レベルが低すぎる(音が小さい)テープ。
- 曲間が短いテープ(約3秒以下)。
- 音楽で、ピアノシモの部分(音が非常に小さい部分)が長く続く曲や、演奏や歌声が全く入っていない部分のあるテープ。
- 曲間に大きな雑音とか、ハム音が録音されているテープ。

曲の始めの部分や終りの部分で頭出しをすると、1つ目の無録音部分でテープが止まらないことがあります。

■テープを速く巻き取るには

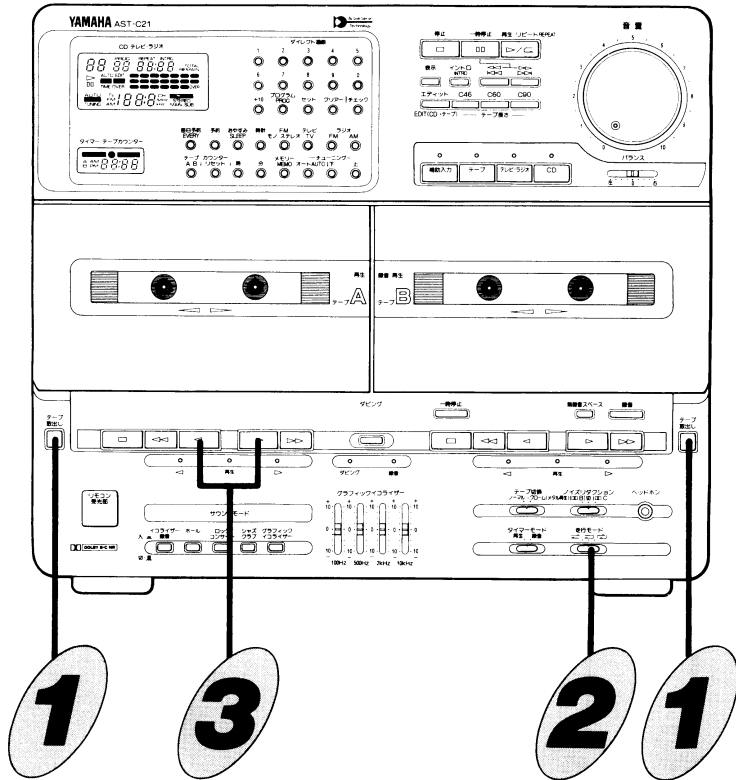
停止中に▶または◀ボタンを押す。

聞きたい部分まで巻き取ったら、^{ストップ}□ボタンを押します。



■走行モードと連続再生のしかた

テープ A とテープ B 両方のデッキにテープを入れると、連続再生ができます。走行モードスイッチを切り替えると、次のように再生されます。

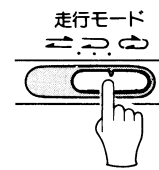


- テープ A からテープ B へ、またはテープ B からテープ A へ切り替わったときは、DIRECTION インジケーターが点灯している面から自動的に再生します。
- 走行モードスイッチは、テープを再生する前や、再生中でも切り替えることができます。
- 走行モードスイッチが のときは、 ボタンを押すまで連続再生を繰り返します。

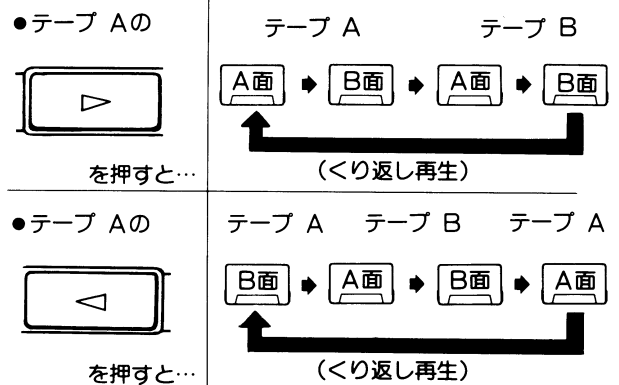
テープ A とテープ B の連続再生をするには

1 両方にテープを入れる。

2 走行モードスイッチを にする。



3 ボタンを押す。



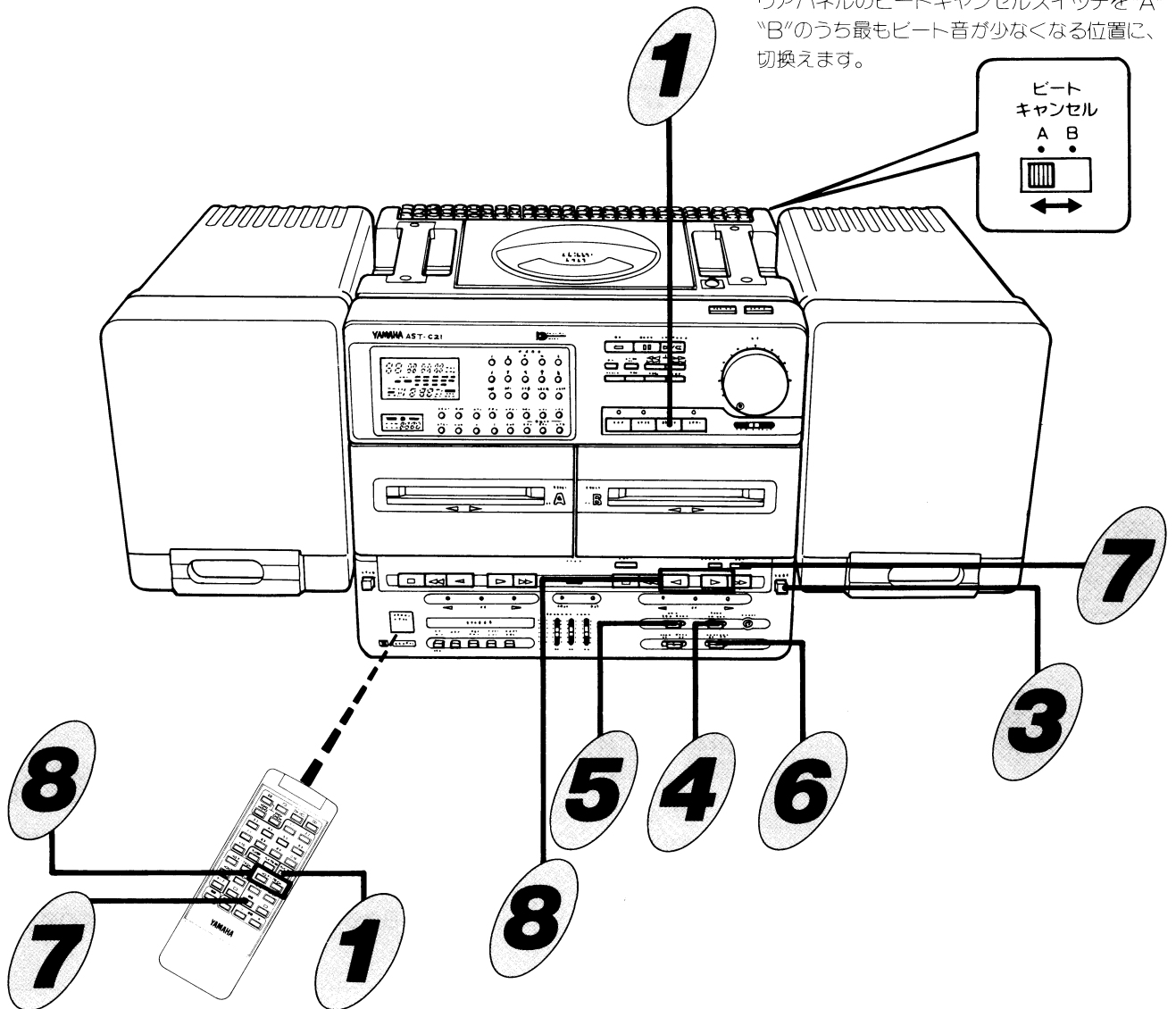
- テープ B から再生を始めても、同じようくり返し再生されます。

9

録音のしかた

テレビまたはFM/AM放送の録音

- AM放送を録音中にビート音(“ビー”または“ピー”という音)が出るときは
リアパネルのビートキャンセルスイッチを“A”“B”のうち最もビート音が少なくなる位置に、切替えます。



録音を一時的に止めるには

一時停止ボタンを押す。

- その位置で一時停止します。
- 録音を再び始めるには録音している方の▶ボタンを押します。

録音を止めるには

ストップ
□ ボタンを押す。


モニターするには

録音している音をスピーカーやヘッドホンで聞くことができます。
音量ツマミで音量を調整してください。

■無録音スペースボタンについて

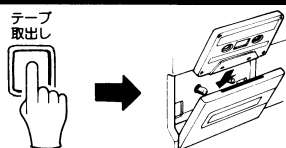
録音中またはRECポーズ(録音時に一時停止ボタンを押した状態)のとき、このボタンを押すと自動的に4秒間の曲間スペースを作ってRECポーズの状態に戻ります。曲間スペースは、テープ編集や頭出し再生のときに便利です。また、テープのリーダー部分にかからないように無録音スペースボタンを押して、リーダー部分を送ることもできます(テープによってはリーダー部分の長さが異なるため、2回動作させてください)。

- 1**

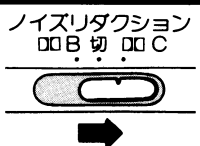


インプットセレクターのテレビ/ラジオボタンを押す。
- 2**

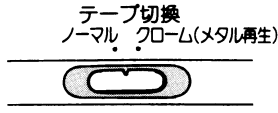
テレビまたはラジオを受信状態にする。
(☞17ページ)
- 3**



テープ Bにカセットテープを入れる。
●カセットテープは、必ず録音する面に消去防止用ツメが付いたものを使用してください。
- 4**




ノイズリダクションスイッチで録音方式(ドルビーB、ドルビーC)を選びます。
- 5**



テープセレクタースイッチを切り替える。

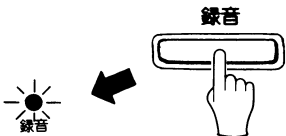
クローム(メタル再生)	クロームテープを使うとき
ノーマル	ノーマルテープを使うとき

※録音時にはメタルテープは使えません。
- 6**

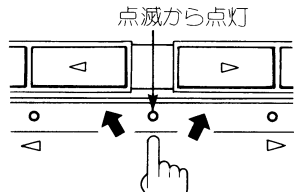


走行モードスイッチを切り替える。

片面	片面だけ録音するとき
両面	両面に録音するとき
- 7**



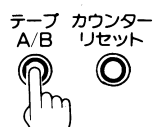
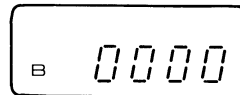
録音ボタンを押す。
●録音インジケーターが点灯します。
- 8**



録音する方向の◀または▶ボタンを押す。
●録音が始まります。

■テープカウンターについて

テープカウンターを利用すると、録音するときの目安となり、大変便利です。



1. テープA/Bボタンを押す。
カウンターは、テープ Aとテープ Bの切換ができます。



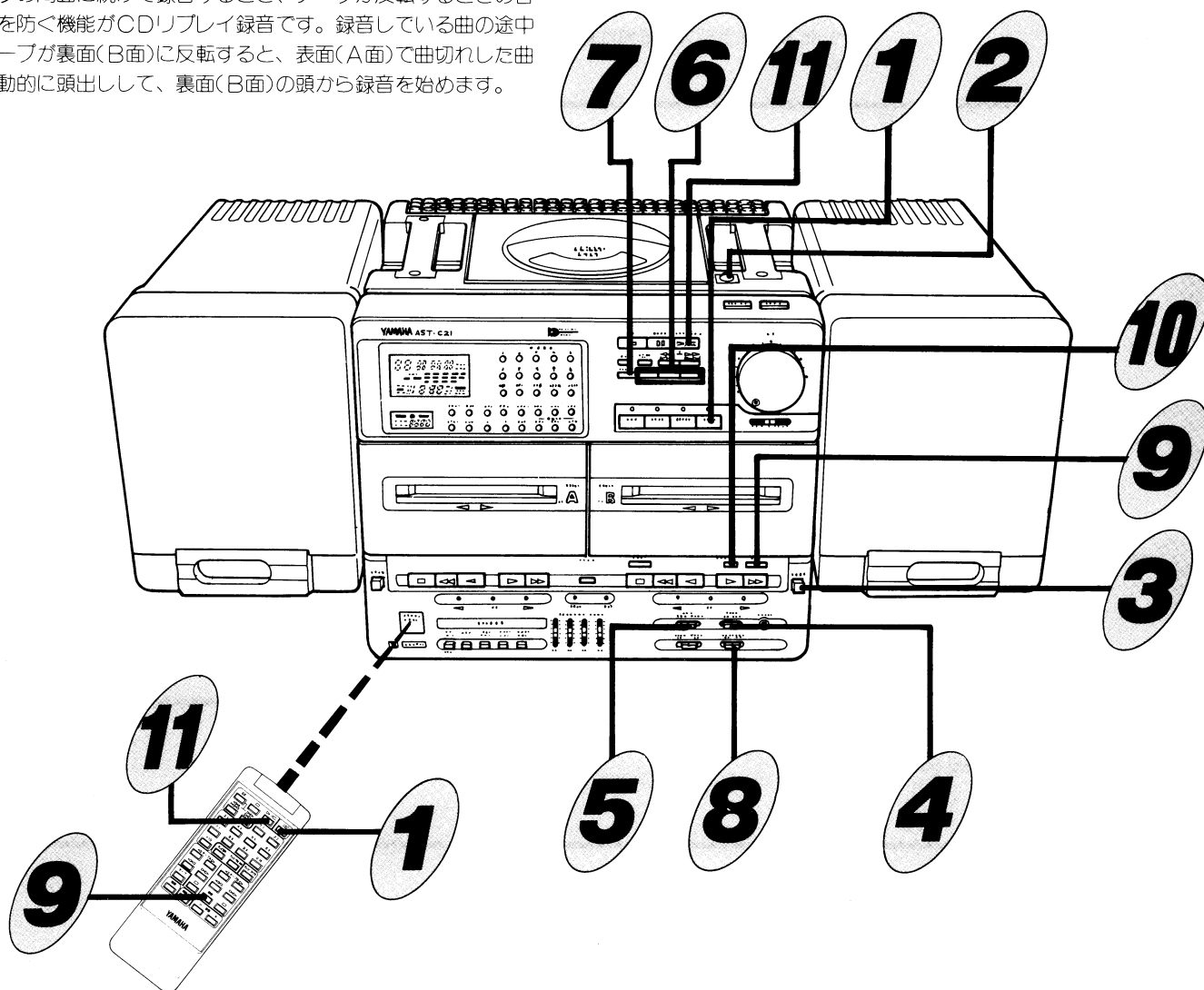
2. カウンターリセットボタンを押す。
テープ Aまたは、テープ Bの表示されている方をリセットすることができます。(この場合、テープ B。)

- 時計ボタンを押すと、時計表示に戻ります。
- 電源を切ったとき、自動的に時計表示になります。
- 時計表示でも、テープ Bが動作しているとテープカウンターも動作しています。
- テープがAだけに入っている時は、自動的にAのカウンター、テープがBだけに入っている時は、自動的にBのカウンターになります。
- A、B両方にテープが入っている時は、テープA/Bボタンで選択することができます。

CDから録音するには

■CDリプレイ録音について

テープの両面に続けて録音するとき、テープが反転するときの音切れを防ぐ機能がCDリプレイ録音です。録音している曲の途中でテープが裏面(B面)に反転すると、表面(A面)で曲切れした曲を自動的に頭出して、裏面(B面)の頭から録音を始めます。



録音を一時的に止めるには

テープの一時停止ボタンを押す。

録音は一時停止しますが、ディスクの演奏は続けられます。

- 再び録音を始めるには録音方向の▶ボタンを押します。
- CDをストップまたは一時停止にすると、デッキはRECポーズ状態になります。

録音を止めるには

テープの ^{ストップ} □ ボタンを押す。

■オートエディット機能について

オートエディットは、CDから録音する際、C46、C60、C90の各ボタンを押して使用テープの長さをインプットし、次にエディットボタンを押しておくこと、自動的にテープのA面とB面に曲を振り分ける編集機能です。例えばA面最後の曲が収まらない場合、残りの曲の中からA面の最後に収まる曲を探し出して録音し、残りの曲をB面に録音します。

オートエディットを取り消すときは、停止状態で ^{ストップ} □ ボタンを押してください。

- 1**  シーティ CDボタンを押す。
- 2**  録音したいディスクを入れる。
●あらかじめ、プログラム(※25ページ)をしておくとききたい曲だけを録音できます。
- 3**  テープ Bにカセットテープを入れる。
●録音時には、メタルテープは使えません。
●カセットテープは、必ず、録音する面に消去防止用ツメが付いたものを使用してください。
- 4**  ノイズリダクション
00 B 切 00 C
ノイズリダクションスイッチで録音方式(ドルビーB、ドルビーC)を選びます。
- 5**  テープ切換
ノーマル クローム(メタル再生)
テープ切換スイッチを切り替える。

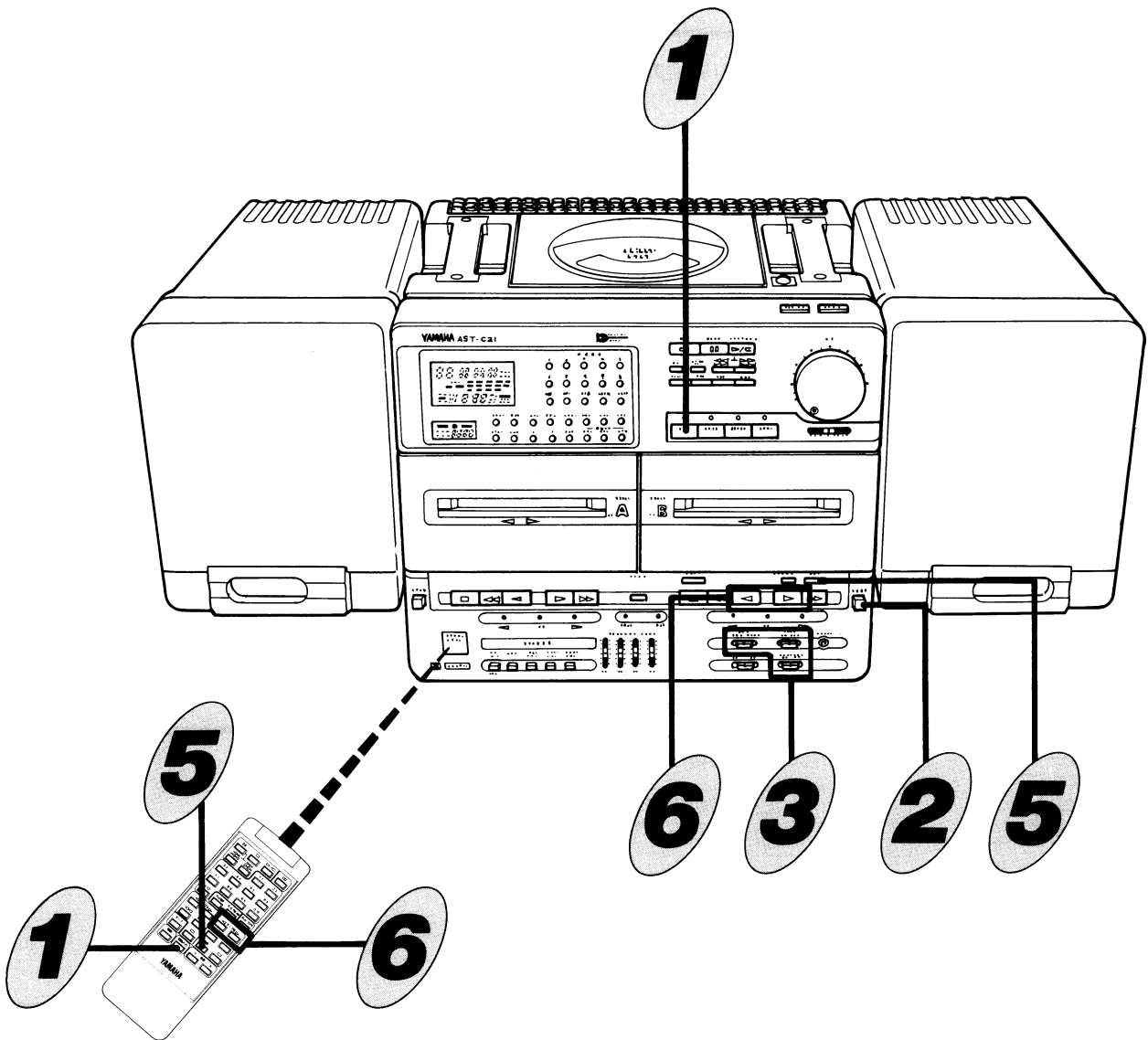
クローム(メタル再生)	クロームテープを使うとき
ノーマル	ノーマルテープを使うとき

●録音時には、メタルテープは使えません。
- 6**  C46 C60 C90
テープ長さ
(オートエディット録音したいとき)
カセットテープの長さに合わせて、C46、C60、またはC90ボタンを押す。
●▶またはKK1ボタンでテープの長さを変えることができます(10~99まで)。
- 7**  エディット
EDIT(CD→テープ)
(オートエディット録音したいとき)
エディット EDITボタンを押す。
●A、B面のプログラムが終了後、表示ボタンでA面、B面のプログラム内容と残った曲の表示
切換えができます。
- 8**  走行モード
走行モードスイッチを切り替える。

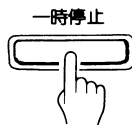
	片面だけ録音するとき
	両面に録音するとき
- 9**  録音
録音ボタンを押す。
●録音インジケータが点灯し、再生インジケータが点滅します。(ポーズ状態)
- 10**  無録音スペース
●リーダー部にかからないよう、無録音スペースボタンを押して4秒間無録音でテープを送っ
ておきます。
- 11**  再生/リピート REPEAT
CDの  ボタンを押す。
●ディスクの演奏が始まる約2秒前にテープの録音が始まります。
(オートエディット時は、約7秒前にテープの録音が始まります。
●DIRECTIONインジケータのついている面に録音されます。
●両面に録音するときは、表面(A面)から始めてください。
●オートエディット時は、必ずA面から録音してください。
●CDからの録音中に無録音スペースボタンを押すと、テープ側は約4秒間の曲間スペース(無
録音)を作ってRECポーズ状態となりますが、CD側はそのまま演奏を続けます。
再びCD録音を始めるには、テープ側の▶ボタン(録音方向)を押します。

外部機器の録音

リアパネルの補助入力端子に接続された、AVセレクトターAVS-C20(別売)などの外部機器出力を録音するとき



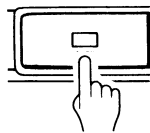
録音を一時的に止めるには



テープの一時停止ボタンを押す。


●再び録音を始めるには、録音方向の▷ボタンを押します。

録音を止めるには

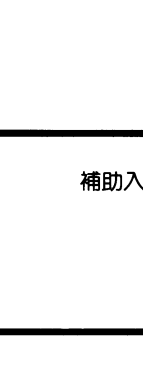


テープの ^{ストップ} □ ボタンを押す。

- 1**

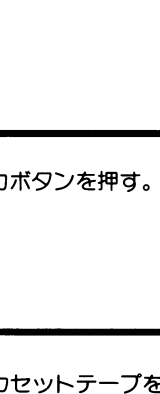


補助入力ボタンを押す。
- 2**




録音用カセットテープをテープ Bに入れる。

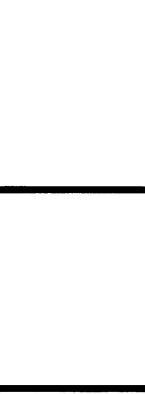
 - 録音時にはメタルテープは使えません。
 - カセットテープは、消去防止用ツメが付いたものを使用してください。
- 3**



ノイズリダクション、テープ切替、走行モードスイッチを使用テープに合わせて切り替えます。
(※36ページ)
- 4**

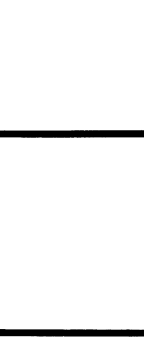


外部機器の電源を入れ、再生状態にする。
- 5**



録音ボタンを押す。

 - 録音インジケーターが点灯します。
- 6**



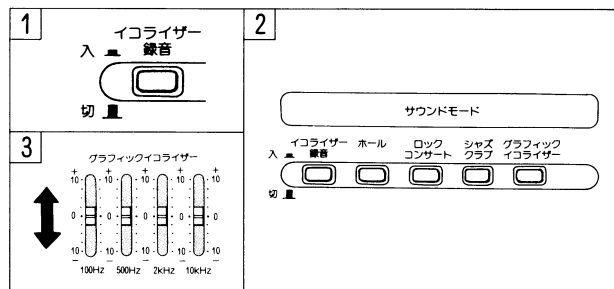
録音する方向の◀または▶ボタンを押す。

 - 録音が始まります。

★イコライザー録音について

グラフィックイコライザーで調整 (※14ページ) した信号を録音することができます。
それぞれの録音のしかた (※35~40ページ) で、録音ボタンを押す前に次の操作をしてください。

1. イコライザー録音スイッチを「入」にする。
3. サウンドモードボタンをプログラムソースに合わせて押す。
3. グラフィックイコライザーボタンを押した場合は、グラフィックイコライザーツマミで音質を調整する。



テープ編集(ダビング)のしかた

テープ編集(ダビング)のしかた

テープ Aに再生用テープ、テープ Bに録音用テープを入れ、テープ編集ができます。

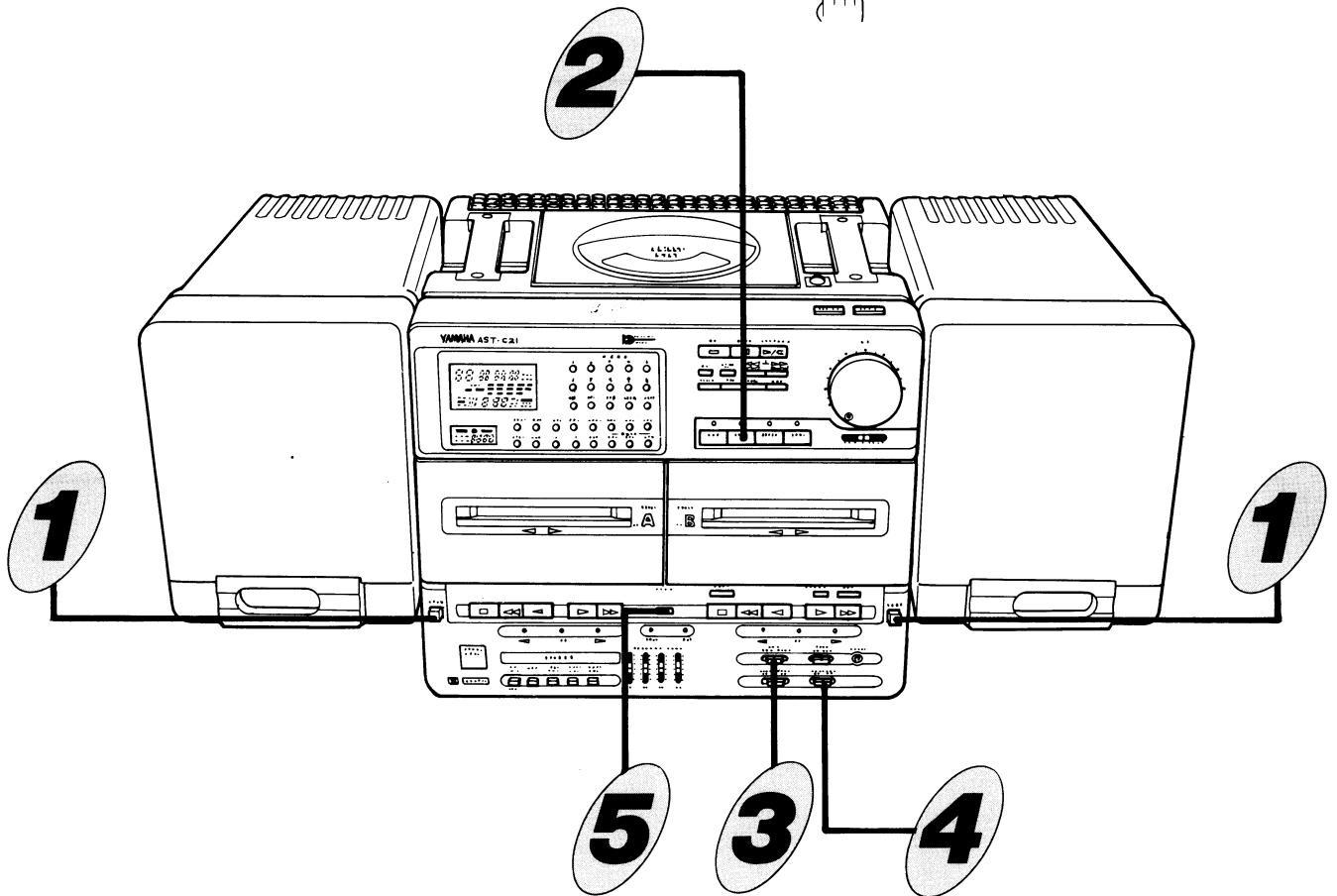
あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

■テープ編集を始める前に

テープ A/B リセット ①テープ A/B ボタンを押してディスプレイをカウンター表示にします。



テープ A/B リセット ②カウンターリセットボタンを押して、カウンター表示を"0000"にしておきます。あとで巻き戻すときに便利です。



■録音用と再生用に、長さの違うテープを使うと

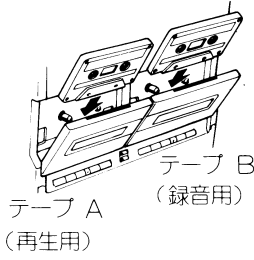
- 片面だけ編集しているとき、
どちらかのテープが最後まで巻き取られると、両方とも自動的に停止します。
- 両面を編集しているとき、
どちらかのテープが最後まで巻き取られ、反転して、もう一方は単独にそのまま走行を続けます。
- テープ編集のときに、テープ Aにテープ Bよりも長いテープを使用する場合は、走行モードスイッチを必ず“⇄”または“⇒”の位置にセットしてください。

■テープ Aとテープ Bにちがう種類のテープを入れると

テープ切換スイッチを、テープ Bで使うテープの種類に合わせてください。ただし、音質は下表のようになります。

テープデッキの種類		テープ切換スイッチの位置	録音される音質
テープ A(再生用)	テープ B(録音用)		
ノーマルテープ	クロームテープ	テープ切換 ノーマル・クローム(メタル再生) 	高音が弱く録音されます。
メタルテープ クロームテープ	ノーマルテープ	テープ切換 ノーマル・クローム(メタル再生) 	高音が強く録音されます。

1




テープ A (再生用) テープ B (録音用)

テープ Aとテープ Bにカセットテープを入れる。

- 録音用と再生用には、同じ種類のテープを使用してください。
- 録音用には、メタルテープは使えません。


2



テープボタンを押す。

3

テープ切換
ノーマル クローム(メタル再生)

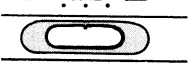


テープ切換スイッチを切り替える。

クローム(メタル再生)	クロームテープを使うとき
ノーマル	ノーマルテープを使うとき

4

走行モード
二点線 一点線

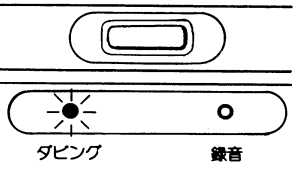


走行モードスイッチを切り替える。

二点線	片面だけ録音するとき
一点線	両面に録音するとき

5

タビング



タビング 録音

タビングボタンを押す。
インジケータが点灯し、テープ Aからテープ Bに編集が始まります。

- 編集は、DIRECTIONインジケータが点灯している側から始まります。
- テープA、もしくはテープ Bのどちらかが先に終わるとテープ A、テープ B共に停止します。
- タビングを途中で止めるときは、TAPE AまたはTAPE Bの ^{ストップ} □ ボタンを押します。このとき、テープ A、テープ Bは同時に停止します。

- 編集中に、一時停止ボタンを押すと、テープ A、テープ B共に一時停止状態となります。再びタビングする時は、タビングボタンを押してください。
- 編集中に、無録音スペースボタンを押すと、テープ Aはポーズ状態になり、テープ Bは4秒間の曲間スペース(無録音)を作ってRECポーズ状態となります。再びタビングする時は、タビングボタンを押してください。
- 編集をやめるには ^{ストップ} □ ボタンを押します。

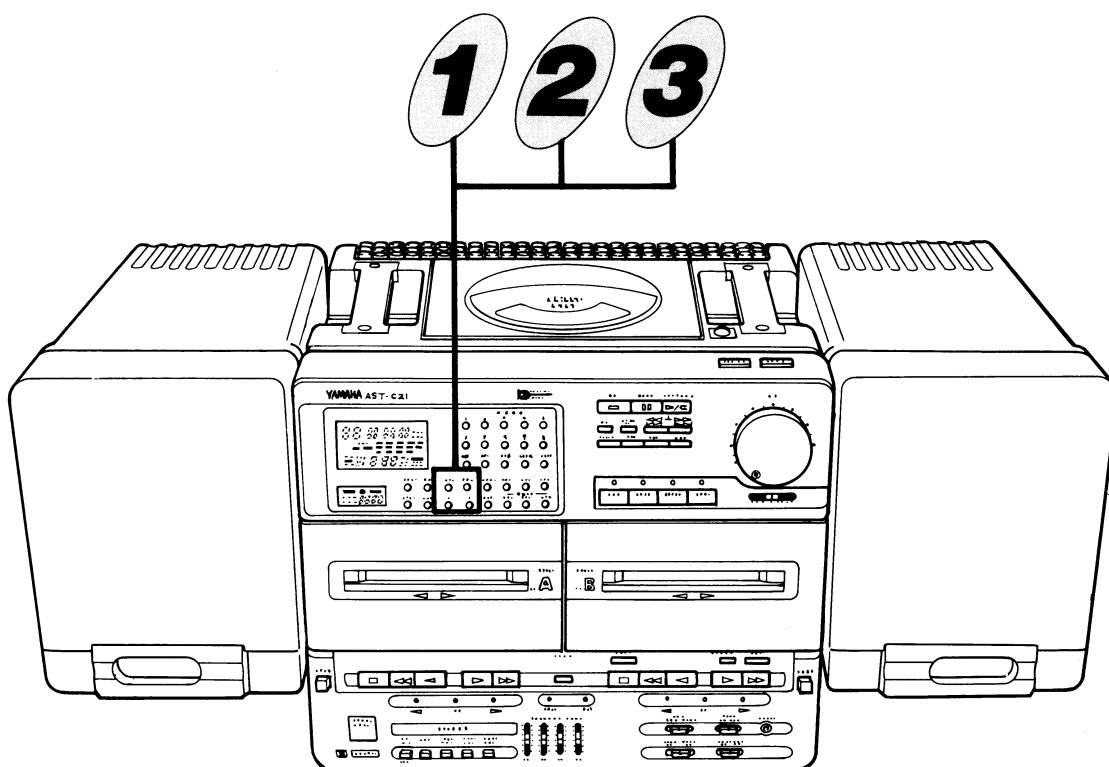
●テープ編集するときには、自動的に下記の動作となります。

テープ A (再生)		テープ B (録音)
ドルビーNR B	→	ドルビーNR B
ドルビーNR OFF	→	ドルビーNR OFF
ドルビーNR C	→	ドルビーNR C

タイマーの使い方

現在時刻のセット

- 電源コードを接続すると、ディスプレイの時計表示部が“AM0:00”で点滅します。
- 現在時刻をセットしないと、タイマーの設定ができません。
- 最初に時計ボタンを押して時計の機能を開始させます。



● AM / PM 表示について

AMとPMの表示をまちがえないように合わせてください。

“AM0:00”→夜の12時
“PM0:00”→昼の12時 } を表わします。

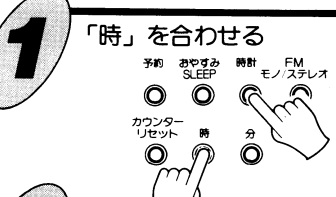
- 途中でまちがえたときや、合わせ直すときはもう一度始めからやり直してください。

●一時間以上停電すると

時計表示が消えます。

再び通電すると時計表示が点滅しますので、もう一度時刻を合わせ直してください。

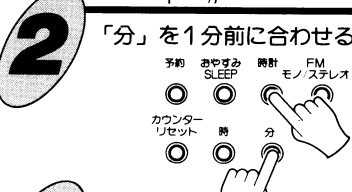
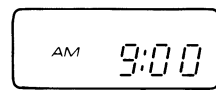
一時間以内の停電では、時計表示およびタイマーの内容は消えません。



1 「時」を合わせる

時計ボタンを押したまま、時ボタンを押す。

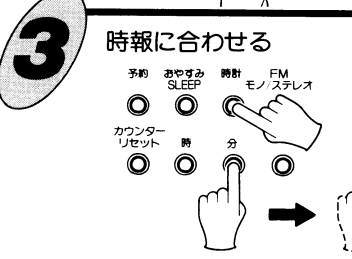
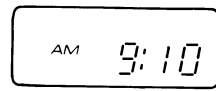
- 1回押すと1時間、2秒以上押し続けると、連続して進みます。



2 「分」を1分前に合わせる

時計ボタンを押したまま、分ボタンを押す。

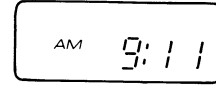
- 1回押すと1分、2秒以上押し続けると、連続して進みます。



3 時報に合わせる

時計ボタンを押したまま、分ボタンを時報(0秒)と同時に1回押して離します。

- 分の表示が1つ進んで0秒から時計が動き始めます。
- 時刻合わせは、1分以内に行なってください。1分以上たつと分の数字が進んでしまいます。

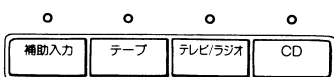


スリープタイマー

スリープタイマーをセットしておくとし、^{シーテ}CDやテープ、ラジオやテレビの音声をセットした時間だけ聞くことができます。

そのまま、おやすみになってしまっても電源が自動的に切れるので大変便利です。

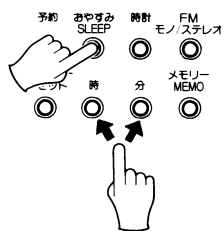
1. 聞きたいソースを選ぶ



インプットセレクターを押し、選んだソースを演奏状態にする。

2. スリープ時間のセット

おやすみSLEEPボタンを押したまま、時ボタンや分ボタンを押して時間を合わせます。



●時ボタンを押すたびに
 1 → 2 → 3 → 0

●分ボタンを押すたびに
 0 → 15 → 30 → 45

と変わります。

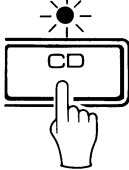
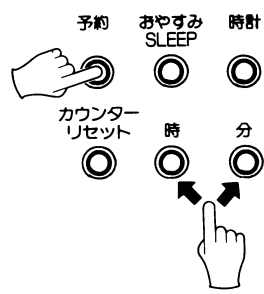
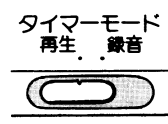



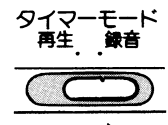
- おやすみSLEEPボタンを押しただけのときは、スリープ時間は自動的に1時間に設定されます。

3. セットした時間になると、自動的に電源が切れます。

- スリープ動作中に残り時間を確かめるにはおやすみSLEEPボタンを押します。
- スリープ動作を途中でやめるには電源スイッチを1回押しします。(1回目でスリープインジケータは消えます。)2回目で電源スイッチを押すと、電源が切れます。

目覚し再生(タイマー演奏)や留守録音のしかた

■はじめに電源をONにして現在時刻を確認してから、タイマーセットをしてください。

	1.聞きたいソースを選ぶ	2.タイマー時刻のセット	3.タイマーモードスイッチの操作
目覚し再生	CDサウンド  シーティ CDを押した後、聞きたいディスクを演奏状態にして止める。 (☞23ページ)	予約ボタンを押したまま、時ボタンや分ボタンを押して時刻を合わせます。 	 再生にする
	ラジオやテレビ  テレビ/ラジオを押した後、聞きたい放送を選局。 (☞17ページ)		
	テープの再生  テープを押した後、聞きたいテープを入れる。タイマー再生の場合、必ずフォワード方向(▶)から始まりますので、フォワード方向で聞きたい曲の頭出しをする。(☞31ページ)		
留守録音	ラジオやテレビ  テレビ/ラジオを押した後、希望局を選局しておく。タイマー録音の場合、必ずフォワード方向(▶)から録音が始まりますのでフォワード方向で録音できるようにテープBに録音用テープを入れる。(☞17ページ)	放送を留守録音するときは、電源を一度ON, OFFして、希望する放送が受信されていることを確認してください。	 録音にする

●毎日、同じ時刻にタイマーをセットしたいとき

タイマー時刻をセットした後で毎日予約EVERYボタンを押すと、EVERYインジケータが点灯し、毎日同じ時刻にタイマーがON動作し、2時間後にOFFとなります。もう一度押すとEVERYインジケータが消えて解除されます。毎日予約のセットは単独でON, OFFできます。

●タイマー時刻の記憶について


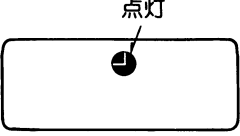

タイマー時刻は、一時間以上停電したり、電源コードを抜いたりしなければ、新しく設定するまで記憶されています。

●タイマー時刻を確かめるには

予約ボタンを押します。

●タイマー動作を止めるには

もう一度タイマーセットスイッチを押します。タイマーインジケータが消えます。(電源スイッチを押してもタイマー動作を止めることができます。)

ト 4. タイマーセットスイッチを押す	5. タイマーがセットされた時間になると	6. 止めるには
<p>電源がOFFになり、 ●(タイマーインジケーター)が点灯します。</p>  	<p>CDサウンドの目覚し再生が始まります。</p> <p>ラジオやテレビの音声放送を受信します。</p> <p>頭出しされた曲からテープ再生が始まります。</p> <p>録音が始まります。</p> <p>●タイマー録音が終わったらカセットテープを取り出してください。</p>	 <p>電源スイッチを2回押す。</p>

●目覚まし再生のときは2時間たつと自動的に電源が切れます。

●CDの目覚し再生中に

タイマープレイで●マークが点灯している時は、ディスクを交換してディスクホルダーを閉めれば、自動的に再び演奏が始まります。

●スリープタイマーと目覚し再生を組み合わせる場合


同じソースであればスリープタイマーと目覚し再生を組み合わせで使用できます。

1)スリープ時間のセットをする。(▶44ページ 2.スリープ時間のセット参照)

2)目覚し再生の操作(上記2~4)をする。

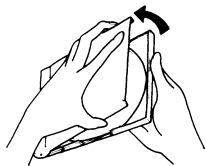
以上でスリープタイマーと目覚し再生の設定が完了します。

CD(コンパクトディスク)の取り扱いかた

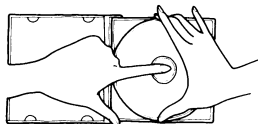
- 本機には、マークのあるコンパクトディスクをお使いください。
- 規格外のコンパクトディスクを本機にセットすると、正しく演奏できなかつたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。規格外のディスクはご使用にならないでください。

●ケースからの取り出しかた

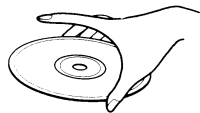
- 1.右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



- 2.左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ちあげます。



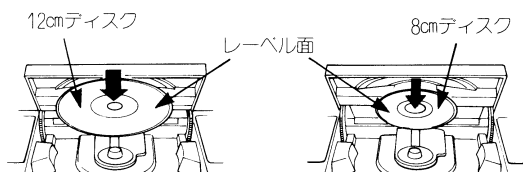
- 3.できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



●ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ず文字の書かれているレーベル面を上にしてディスクホルダーの中央に正しくセットしてください。

- *コンパクトディスクの演奏は片面のみです。
- *ディスクホルダーにセットできるディスクは1枚だけです。
- 市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。
- ディスクシート等を使用したディスクの場合は、正常に演奏できないことがあります。

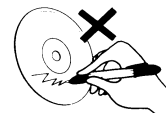


●取り扱いの注意

- 信号記録面に指紋やほこりがつきまじたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音にはまったく影響ありません。



- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



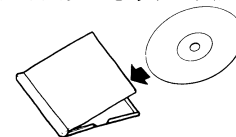
- 曲げたりしないでください。



- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



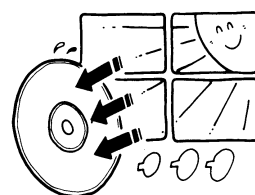
- 演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



- レコーダスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水に濡れた布で拭くことも避けてください。



- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを温度の高い場所に長時間放置すると変形などの原因となります。



カセットテープについて

市販のカセットテープは多種多様の製品がありますが、その構造については規格が統一されており、各メーカーのものが共通に使用できます。

■録音時間による分類

カセットテープの型名は、両面往復時間を“分”単位で表示してあります。

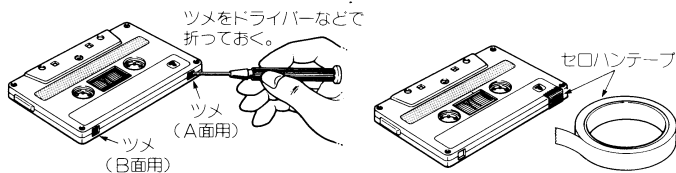
種類	録音再生時間		テープの長さ(m)
	片道(分)	往復(分)	
C-46	23	46	68
C-60	30	60	90
C-90	45	90	135

※C-120テープやリール付デザインのテープは、テープが薄いため音質面でも音楽録音には適当ではありません。できるだけ上記のテープをご使用ください。

■大切な録音をあやまって消さないために

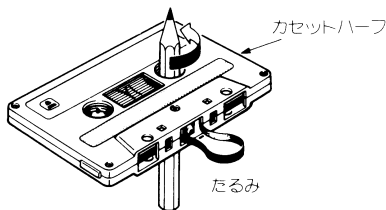
カセットテープには、大切な録音をあやまって消さないように消去防止用の穴があります。録音後、この穴のツメをドライバーなどで取り去ると重ねて録音できませんから、録音内容をいつまでも保存することができます。

また、ツメを折ったテープに再び録音したい場合には、セロハンなどで穴をふさいでください。



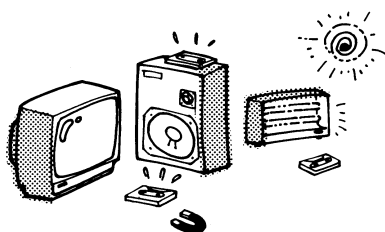
■テープのたるみを直す

テープがとび出したり、たるんだままご使用になりますと、キャプスタンやピンチローラーにテープがからみついたりする原因となります。こんな場合には、カセットテープのリール軸に鉛筆などを差し込んで巻き取り、テープのたるみを直してからご使用ください。



■カセットテープの保管は

カセットケースに入れ、直射日光(高温)、湿気および磁気のあるところ(テレビやスピーカーの近く)を避けて保管してください。高温や湿気はテープをいため、磁気録音内容を消してしまいます。



デッキ部のお手入れ

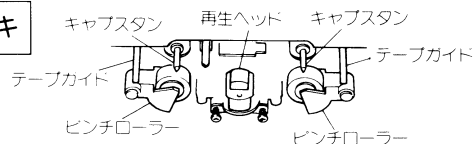
(末永くご愛用いただくために)

デッキを長時間ご使用になると、キャプスタン、ピンチローラー及びヘッドの汚れや帯磁が原因で、音がかすれたり、ノイズが入ったり、音がふるえたりしてきます。市販の綿棒、クリーニング液やクリーニングテープ、ヘッドイレーサーで定期的にクリーニングや消磁をしてください。クリーニングはおよそ10時間ごとに、消磁は20~30時間を目安に行なってください。特に大切な録音をするときや、古いテープを使った後もクリーニングしておきましょう。

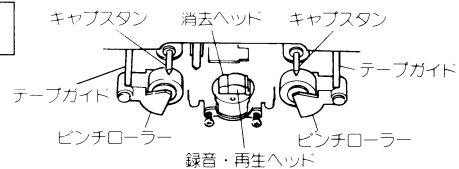
●クリーニングの際は、ヘッドに無理な力を加えないようご注意ください。

●消磁の際は、ヘッドイレーサーの説明書を参照してください。

テープ A デッキ



テープ B デッキ



著作権について

あなたが、本機で録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC・音権協)

北海道支部 TEL.011(221)5088
〒060 札幌市中央区北1条西3丁目
大和銀行札幌ビル

静岡支部 TEL.0542(54)2621
〒420 静岡市追手町9-22
読売静岡ビル

東北支部 TEL.022(264)2266
〒980 仙台市中央2-1-7
仙台三和ビル

中部支部 TEL.052(586)1155
〒450 名古屋市中村区名駅4-27-20
名古屋三井ビル南館

大宮支部 TEL.0486(43)5461
〒330 大宮市宮町2丁目51
大宮蓮見ビル

京都支部 TEL.075(251)0134
〒600 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8
京都三井ビル

本部 TEL.03(502)6551
〒105 東京都港区西新橋1丁目7-13

大阪支部 TEL.06(244)0351
〒542 大阪市南区南船場4-3-11
豊田ビル

東京支部 TEL.03(562)4455
〒104 東京都中央区銀座1丁目15-6
共同ビル銀座1丁目3F

四国支部 TEL.0878(21)9191
〒760 高松市寿町2丁目2番10号
住友生命高松寿町ビル3F

北陸支部 TEL.0762(21)3602
〒920 金沢市香林坊2-3-25
金沢日産生命ビル

中国支部 TEL.082(249)6362
〒730 広島市中区大手町1-2-1
広島東京海上ビル2F

横浜支部 TEL.045(662)6551
〒231 横浜市中区日本大通り60
朝日生命横浜ビル

九州支部 TEL.092(441)2285
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1
福岡朝日ビル

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

	症 状	原 因	処 置	
アンテナ部	電源スイッチを押しても電源が入らない。	ACコードが抜けている。	ACコードを電源に差し込む。	
	スピーカーの片方が鳴らない。	バランスツマミが左か右のどちらかにずれている。 スピーカーコードの接続が不完全。	バランスツマミを正しく調整しなおしてください。 スピーカーコードを正しく接続しなおしてください。	
チューナー部	FM放送やテレビ音声に「ワリワリ」という音が入る。(電波の弱い地域ほど著しい)	自動車などのイグニッションノイズ。 サーモスタットつき電機器具の雑音。	FM/TV専用アンテナをできるだけ高く道路から離れた位置に設置し、同軸ケーブルを使用してください。	
	ステレオ放送、音声多重放送になると雑音が多くなる。	放送局から離れた地域や障害物があるアンテナ入力力が弱い。	アンテナの接続を確認してください。 FM/TV専用アンテナ(できれば多素子のもの)を設置してください。	
	ステレオ放送、音声多重放送受信MULTI/STEREOインジケータが点滅し、雑音も多い。	アンテナ入力の不足。	受信地域の電界強度に合ったアンテナを設置してください。	
	プリセット選局ができない。	プリセット(メモリー)が消えている。	再度プリセットしてください。	
	テレビ画面に縞模様や色ムラが出る。	本機のテレビ音声とテレビ画面が別々のチャンネルを受信している。	本機のテレビ音声とテレビのチャンネルを同じにしてください。	
	AM放送に「ジー」「ザー」「ガリガリ」などの連続雑音が出る。	雷などによる雑音、または蛍光灯、モーター、サーモスタット付きの電機器具による雑音。 テレビ、マイコン等のそばで使用している。	AM屋外アンテナを張りアースをとると減少しますが、完全に除去するのは困難です。 テレビ、マイコン等から離して使用してください。	
	AM放送の感度が低い。	電波が弱いか、アンテナの接続が確実でない。	AMループアンテナを確実に接続してください。 AMループアンテナの方向を変えてみてください。 屋外にAM専用アンテナを張ってください。	
	タイマーをセットできない。	時刻合わせが行なわれていない。	時刻合わせを行なってください。	
	タイマー動作が予定どおりに行なわれない。	電源スイッチで電源を切った。	タイマーセット後はタイマーセットスイッチで電源を切ってください。	
	CDプレーヤー部	ディスクを入れても演奏できない。	ディスクが裏返しにセットされている。 ディスクがひどく汚れている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。 ディスクをクリーニングしてください。
音が出ない。		インプットセレクターが正しくセットされていない。	インプットセレクターのCDボタンを押してください。	
音がと切れる。(同じ場所でも切れる。)		・ディスクが汚れている。 ・音量が大きすぎる。	・ディスクをクリーニングしてください。 ・音量を下げてみる。	
カセットデッキ部	録音・再生時にテープが回らない。	テープがたるんでいたため、ピンチローラーにまきついている。	テープを使用するまえにテープのたるみを鉛筆などで取ってください。	
	録音できない。	カセットテープのツメが折られている。 ヘッドが汚れている。	カセットテープを交換するか、ツメの部分をセロハンテープなどでカバーしてください。 ヘッドをクリーニングしてください。	
	音がかすれる。音がと切れる。	ヘッドが帯磁している。 古いテープを使っている。	ヘッドイレーサーでヘッドを消磁してください。 良質なテープと交換してください。	
	再生音の音質が悪い。	テープ切替、ノイズリダクションスイッチのセットが違っている。	録音したときと同じポジションにセットしてください。	
	左右のバランスが悪い。	ヘッドが汚れている。	ヘッドをクリーニングしてください。	
	雑音が多い。	ヘッドが帯磁している。 古いテープを使用している。	ヘッドイレーサーでヘッドを消磁してください。 良質なテープと交換してください。	
	録音または再生の途中でストップしてしまう。	テープがゆるんだり飛び出している。 テープに折れや傷がある。 エンドレステープを再生している。	鉛筆などでカセットハーフのリール軸を回して、テープを張りなおしてください。 新品テープと交換してください。 エンドレステープは再生しないでください。	
	選曲できない。	無録音部分が短い。 曲の途中で録音レベルが非常に低いところがある。 エアチェックなどで会話が録音されている。	頭出し機能は、無録音部分が4秒以上ないとたつきません。	
	リモコン部	リモコンで操作できない。	電池が消耗している。 リモコン操作の距離、角度が適切でない。	電池を交換してください。 6m以内、20°以内で操作してください。
		リモコンを操作するとテレビが誤動作する。	ワイヤレスリモコン付のテレビのそばで使用している。	テレビと本システムを離してセットするかテレビのリモコン受光部におおいをしてください。

参考仕様

■アンプ部

定格出力 (6Ω/EIAJ)	35W+35W
全高調波歪率 (20W/6Ω, 1kHz)	0.06%
グラフィックイコライザー	
中心周波数	100Hz, 500Hz, 2kHz, 10kHz
可変幅	±8dB
入力感度 (補助入力)	300mV
ヘッドホン出力 (8Ω)	120mV

■チューナー・タイマー部

受信周波数範囲	
TV	1~62cH
FM	76.0MHz~90.0MHz
AM	522kHz~1629kHz
タイマー	1日1回120分
スリープ	3時間45分 (Max)

■カセットデッキ部

録音・再生周波数特性	40Hz~15kHz(クロームテープ)
S/N比	65dB(DOLBY B) 72dB(DOLBY C)

■CDプレーヤー部

周波数特性	5Hz~20kHz
ダイナミックレンジ	90dB以上
フィルター	16bitデジタルフィルター +3次アクティブフィルター

■スピーカー部

型式	2way ASTタイプ, ※防磁型(EIAJ)
スピーカーユニット	
ウーファー	12cmポリプロピレンコーンタイプ (JA1269)
ツイーター	3cmコーンタイプ (JA05P6)
クロスオーバー周波数	5kHz
出力音圧レベル	90dB/W/m
再生周波数帯域	40Hz~20kHz

■総合

電源電圧	AC100V, 50/60Hz
消費電力	80W
外形寸法(W×H×D)	
本体	300×268×276mm
スピーカー(1個分)	155×217.5×242mm
重量	
本体	7.4kg
スピーカー(1個分)	2.5kg
付属品	
リモコン	× 1
単4乾電池(UM4/R03)	× 2
ループアンテナ	× 1
ロッドアンテナ	× 1
アンテナホルダー	× 1
ロッドアンテナ接続ワイヤー	× 1
ネジ(ロッドアンテナ, ホルダー取付用)	× 3
スピーカーコード(コネクタ付き)	× 2
スピーカー取付金具 × 2
スピーカー取付ネジ × 4

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※防磁型スピーカーについて

- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、スピーカーを更に離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。



ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーライセンスリングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

「ドルビー」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーライセンスリングコーポレーションの登録商標です。



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA 電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。
※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル4F 東北営業所 TEL(022)222-6080
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691 首都圏第二営業所 TEL(03)255-2201 神田営業所 TEL(03)255-6767
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル 北関東営業所 TEL(025)241-2084
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ツ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 中央営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内 中国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 AV機器事業部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
松本	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL(0263)32-5930
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中区川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
京都	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル TEL(075)361-6470
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
神戸	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内 TEL(078)321-1195
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

国内営業部 TEL(0534)60-3451
生産部品質保証課 TEL(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。